

# 資料編



|                              |     |
|------------------------------|-----|
| • 市民アンケート調査（抜粋） .....        | 67  |
| • ヒアリング調査 .....              | 80  |
| • 地区別懇談会 .....               | 90  |
| • 地域資源の整理 .....              | 102 |
| • 用語解説 .....                 | 108 |
| • 計画策定の経緯 .....              | 113 |
| • 第2次地域福祉推進計画策定委員会設置要綱 ..... | 114 |
| • 第2次地域福祉推進計画策定委員等名簿 .....   | 115 |

# 市民アンケート調査（抜粋）

## 調査目的

南あわじ市の住民の福祉に対する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画を策定する基礎資料として活用するために実施しました。

## 調査概要

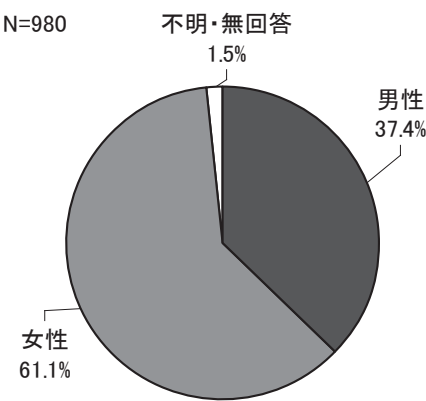
- 調査地域：南あわじ市全域
- 調査対象者：20歳以上の市民2,000人を対象に無作為抽出
- 調査期間：平成22年12月3日～12月18日
- 調査方法：郵送による配布回収
- 回収状況：配布数2,000件  
有効回収数980件（有効回答率49%）

## 報告書の見方

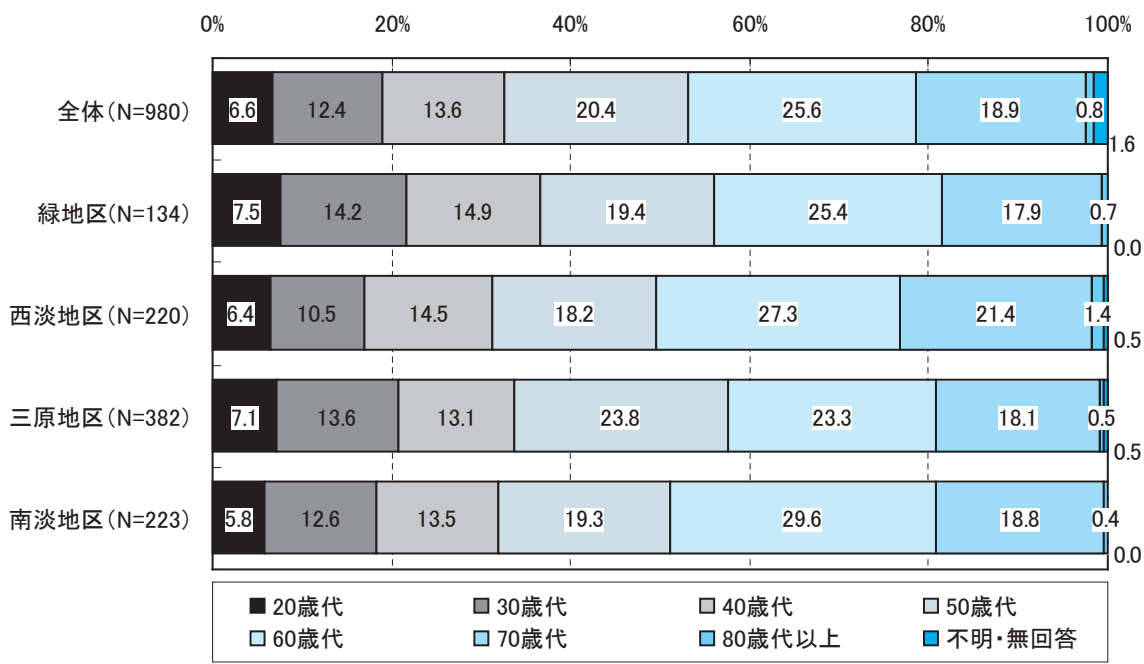
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、SA【単数回答】（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- MA【複数回答】（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフ及び表のN数（number of case）、「サンプル数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

# 結果概要

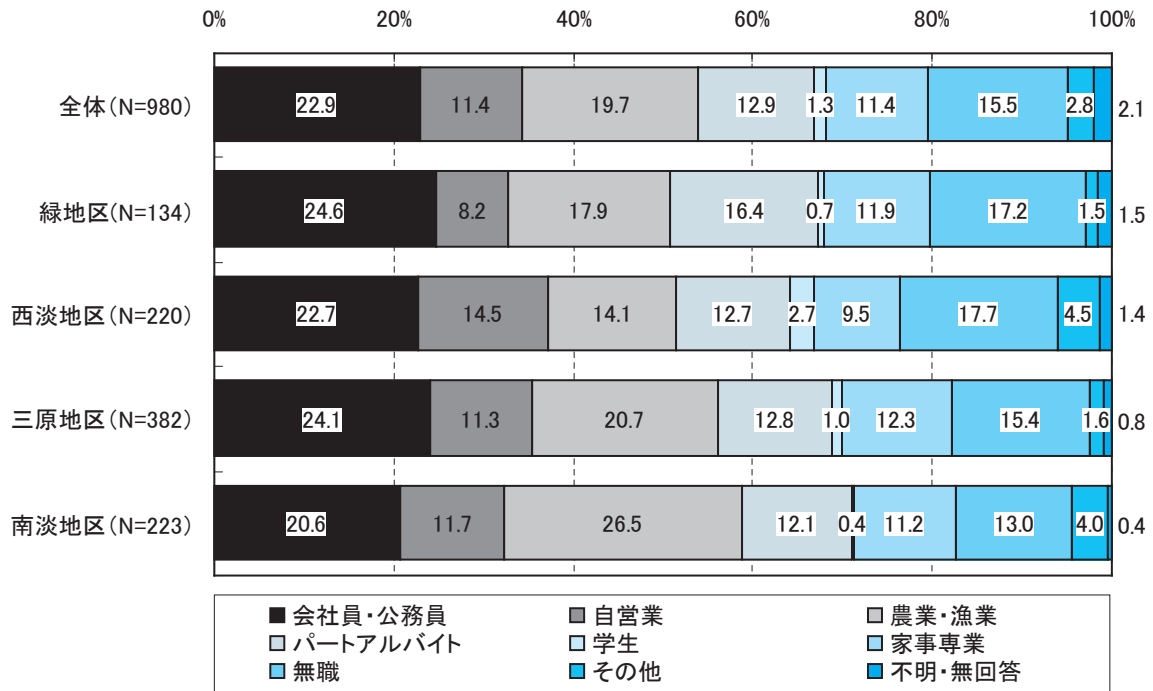
## ア. 性別 (SA)



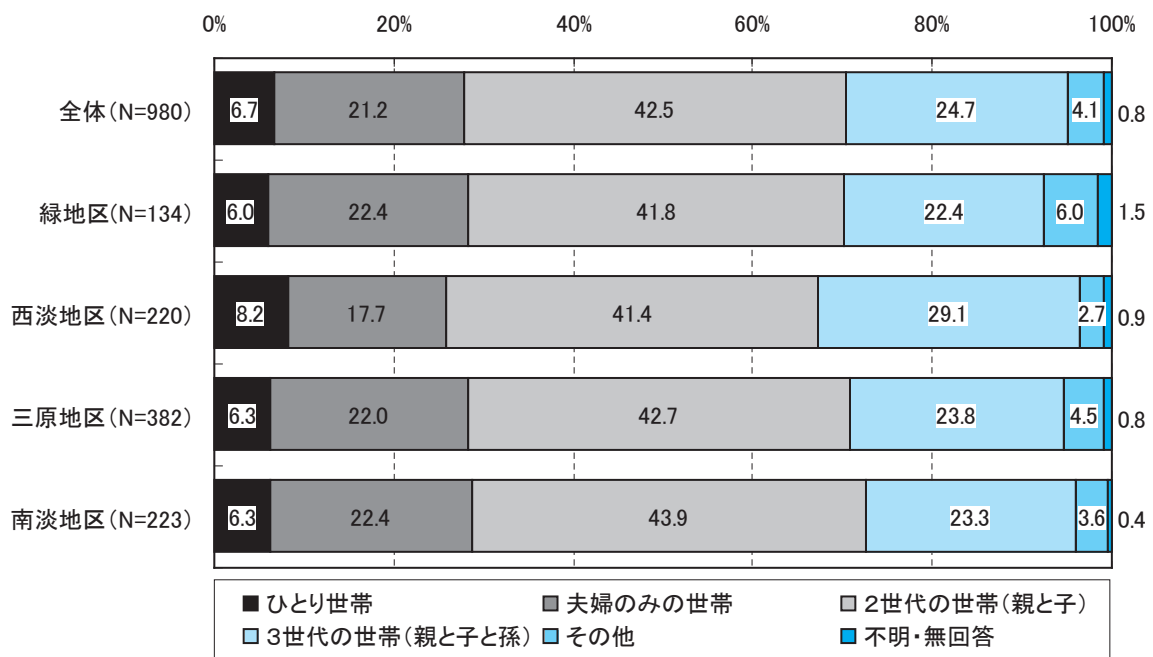
## イ. 年代 (SA)



## ウ. 職業 (SA)

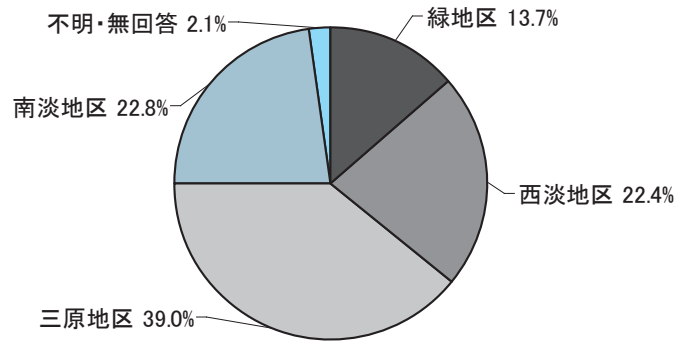


## エ. 家族構成 (SA)

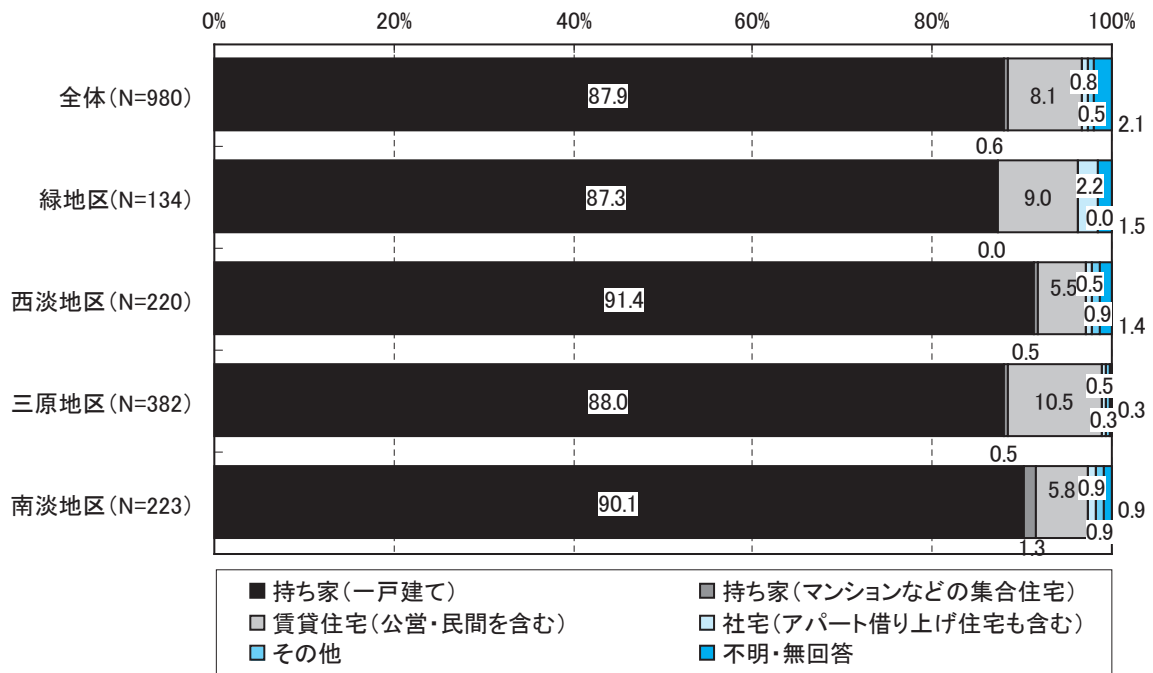


## 才. 居住地区 (SA)

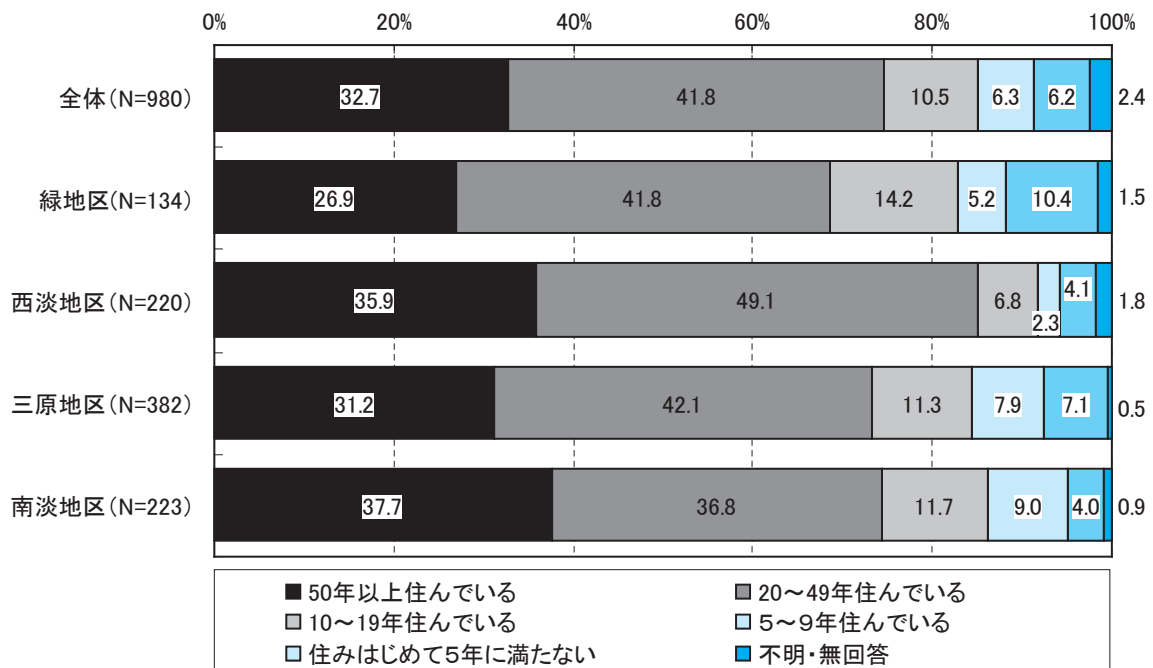
N=980



## 力. 居住形態 (SA)



## キ. 居住年住 (SA)

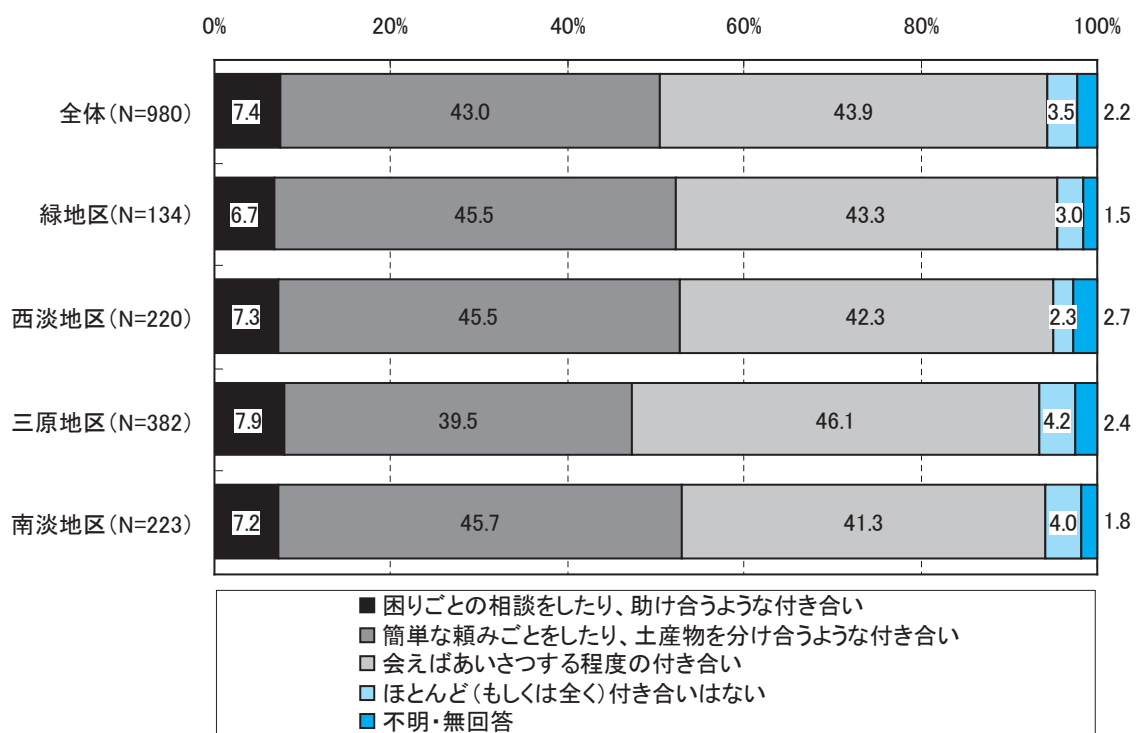


## 「隣近所」との関わりについておたずねします

問 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか (SA)

ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされているかについてみると、全体では「簡単な頼みごとをしたり、土産物を分け合うような付き合い」「会えばあいさつする程度の付き合い」の割合が上位を占めています。また、地区別でも同様の傾向がみられます。

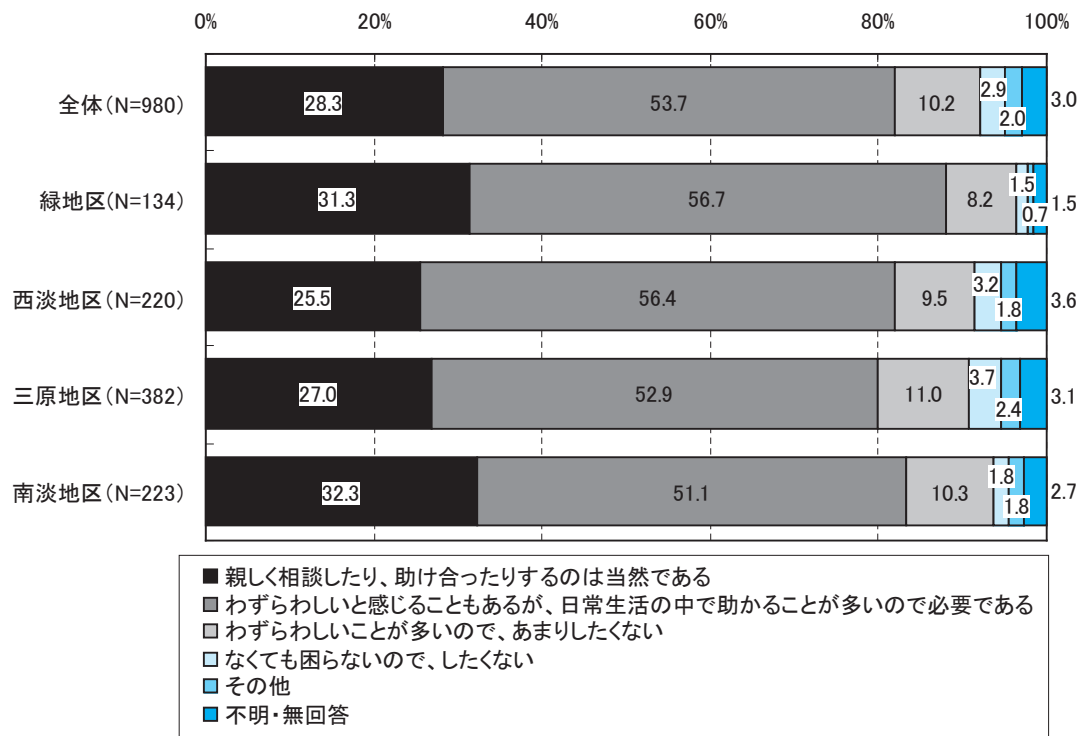
### ■地区別



問 あなたの近所の人との付き合いに対する考え方は、次のどれですか (SA)

近所の人との付き合いに対する考え方についてみると、全体では、「わずらわしいと感じることもあるが、日常生活の中で助かることが多いので必要である」の割合が53.7%と最も高くなっています。また、地区別でも、すべての地区で「わずらわしいと感じることもあるが、日常生活の中で助かることが多いので必要である」の割合が最も高くなっています。

地区別



その他回答

| 回 答 内 容                                                   | 件数 |
|-----------------------------------------------------------|----|
| 高齢者の助けになりたいと考えるが、遠い所に住む家族やデイケアなどもあり、関わらない方がトラブルにならないのだと思う | 1  |
| 当然とは思わないが、よいことだと思う                                        | 1  |
| 信頼できる人ができれば                                               | 1  |
| 一部の人で役（隣保長）をしている人に、嫌がらせをする人がいるのであまりしたくない                  | 1  |
| 色々と話ができたならよいと思うのだが、なかなかそこまでできないでいる                        | 1  |
| 相談する人はいない（周り近所）                                           | 1  |
| どちらでもない                                                   | 1  |
| ずっと仕事をしていたので、会う機会がない                                      | 1  |
| 特に親しくする必要もないが、特別に困ったことがある場合は助け合っていけばよいと思う                 | 1  |
| 近隣特定の家庭で夫婦揃って憶地悪く投書など迷惑行為が多くケンカをする気にもなれない                 | 1  |

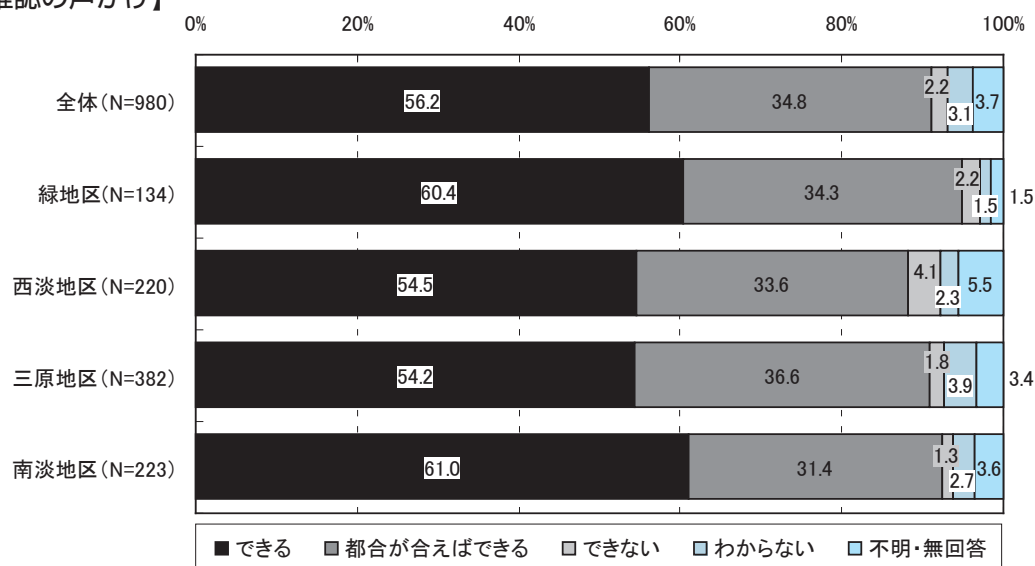
## 問 あなたは、近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか (SA)

### ①安否確認の声かけ

近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思うかについて、【①安否確認の声かけ】をみると、全体では「できる」の割合が56.2%と最も高くなっています。また、地区別でも、すべての地区で「できる」の割合が最も高くなっています。

#### ■地区別

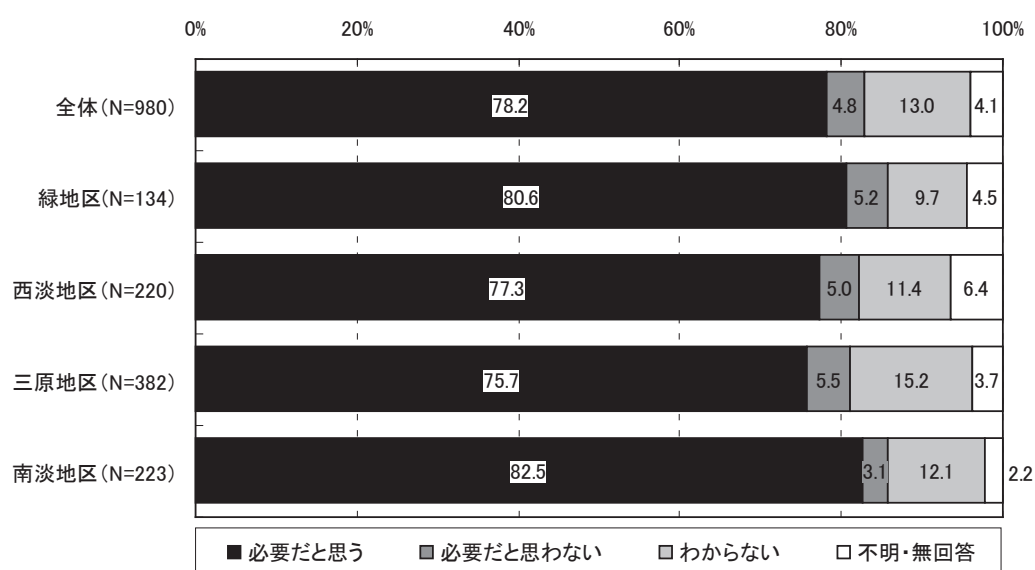
##### 【①安否確認の声かけ】



## 問 あなたは地域で生活を送るうえで、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか (SA)

地域で生活を送るうえで、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思うかについてみると、全体では「必要だと思う」の割合が78.2%と最も高くなっています。また、地区別でも、すべての地区で「必要だと思う」の割合が最も高くなっています。

#### ■地区別

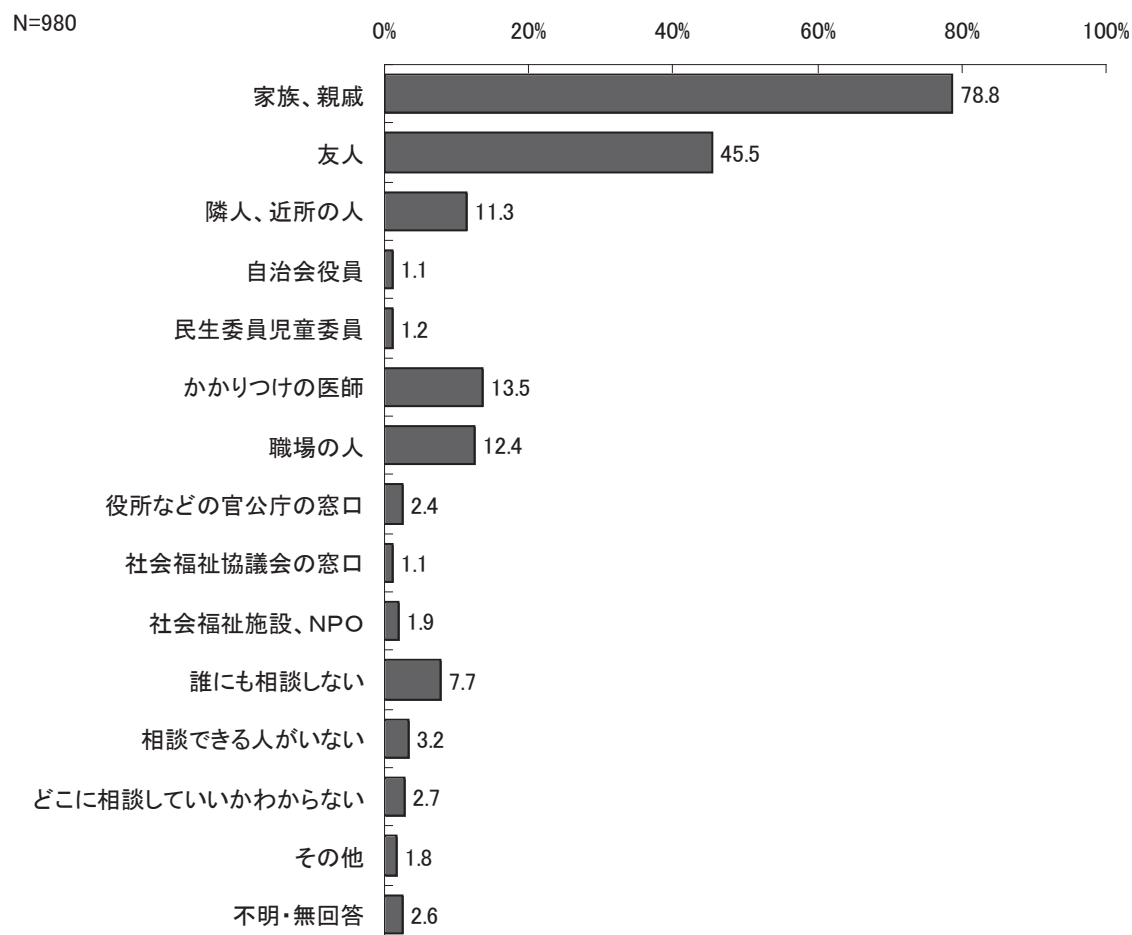




## 助け合い、支え合える「地域」についておたずねします

### 問 現在、不安や悩みを主にどなたに、もしくはどこに相談していますか (MA)

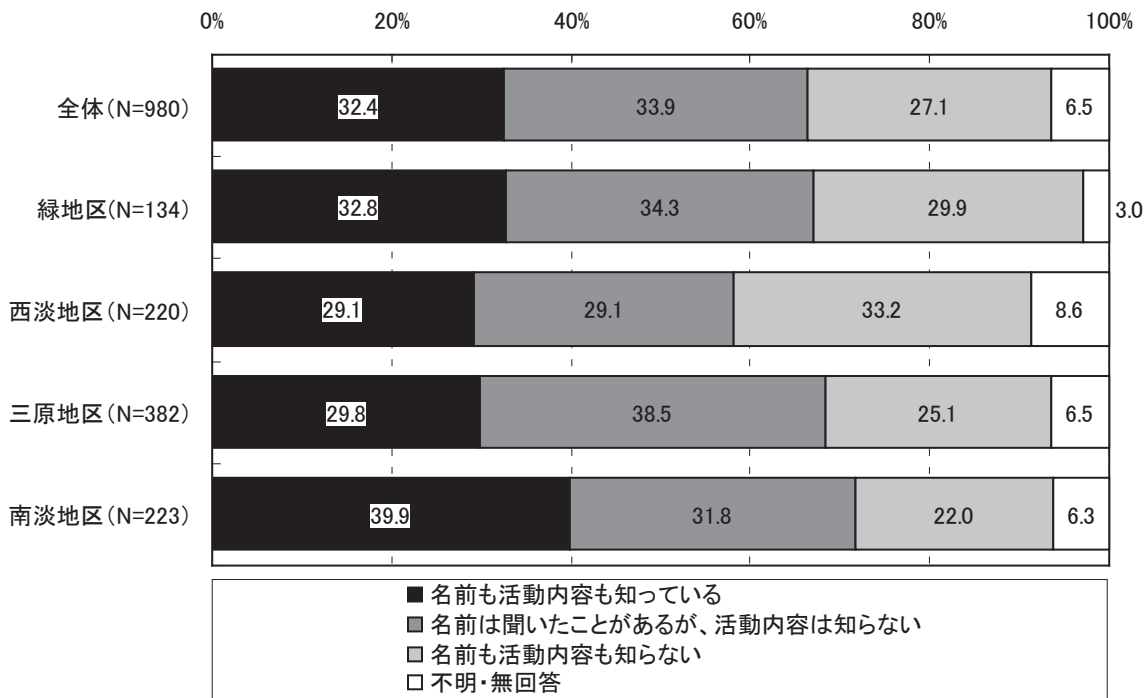
現在、不安や悩みを主にどなたに、もしくはどこに相談しているかについてみると、「家族・親戚」の割合が78.8%と最も高く、次いで「友人」が45.5%となっています。



問 あなたは、あなたが住んでいる地域を担当している民生委員児童委員を知っていますか (SA)

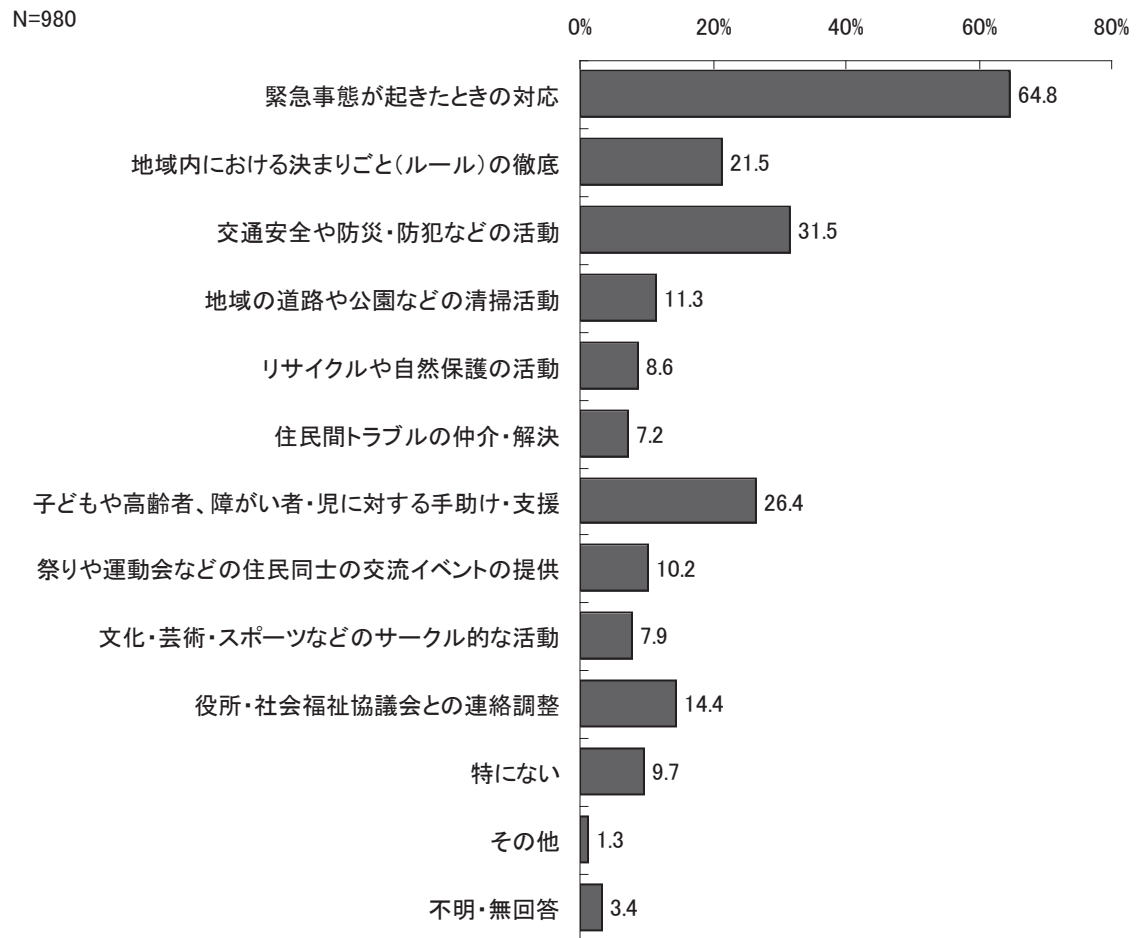
あなたが住んでいる地域を担当している民生委員児童委員を知っているかについてみると、全体では「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」の割合が33.9%と最も高くなっています。また、地区別では〔緑地区〕〔三原地区〕で同様の傾向がみられます。〔西淡地区〕では「名前も活動内容も知らない」の割合が最も高く、〔南淡地区〕では「名前も活動内容も知っている」の割合が最も高くなっています。

■地区別



## 問 あなたが住んでいる地域の中で安心して暮らしていくには、地域にある組織や団体に対してどのような活動を期待していますか (MA)

回答者が住んでいる地域の中で安心して暮らしていくには、地域にある組織や団体に対してどのような活動を期待しているかについてみると、「緊急事態が起きたときの対応」の割合が64.8%と最も高く、次いで「交通安全や防災・防犯などの活動」が31.5%、「子どもや高齢者、障がい者・児に対する手助け・支援」が26.4%となっています。



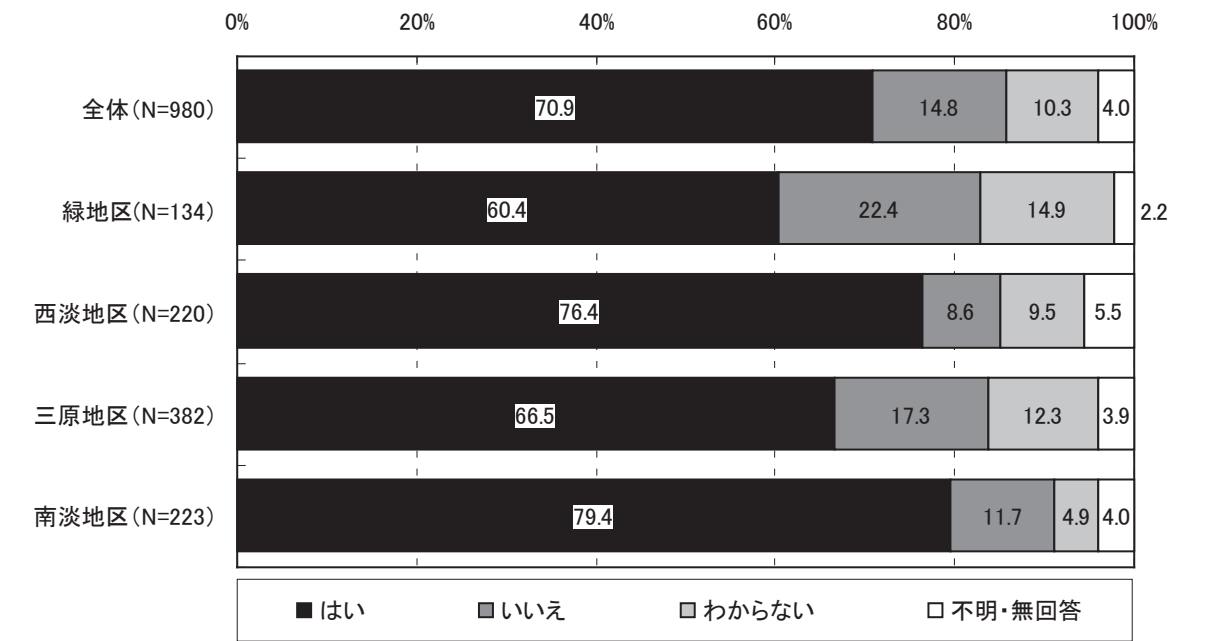
問 あなたは、防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、どのようにお考えですか（SA）

①災害時の避難場所について知っていますか

防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応をどのように考えるかについて、【①災害時の避難場所について知っているか】をみると、全体では、認知している割合が70.9%となっています。また、地区別では、認知している割合が6割以上となっています。

■地区別

【①災害時の避難場所について知っているか】

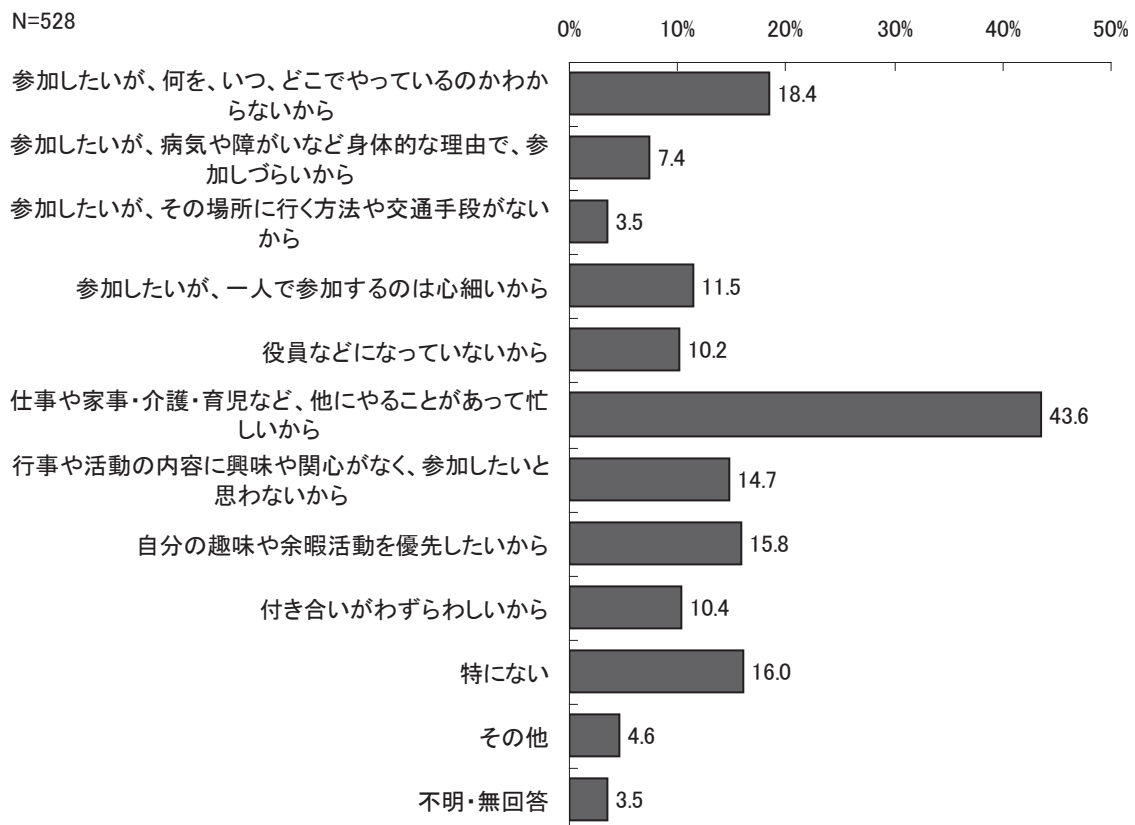


## 「地域活動・ボランティア活動」についておたずねします

問 自治会・社会福祉協議会等の地域の活動に「参加していない」を選ばれた方におたずねします

自治会・社会福祉協議会等の活動に参加していない主な理由は何ですか (MA)

自治会・社会福祉協議会等の地域の活動に「参加していない」と答えた方の、主な理由についてみると、「仕事や家事・介護・育児など、他にやることがあって忙しいから」の割合が43.6%と最も高く、次いで「参加したいが、何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」が18.4%となっています。

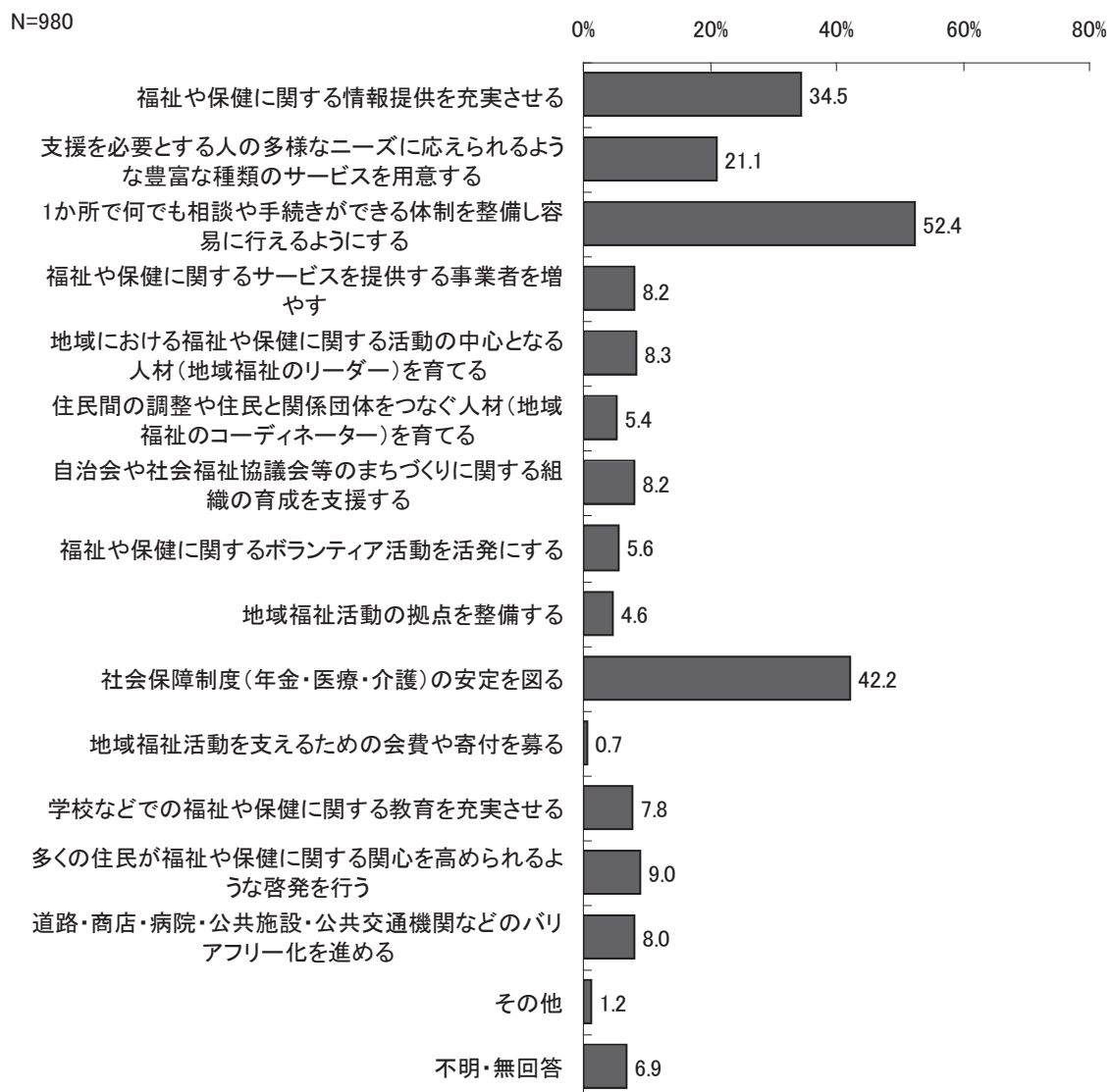


## 「福祉サービス\*」についておたずねします

\*福祉サービス：高齢者や障がい者・児の日常生活の介護・介助、子育て支援などに関して自立した日常生活を営むことができるよう支援するものです。ここでは行政、民間事業所、NPO 等が提供するサービスをさしています

### 問 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか (MA)

誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思うかについてみると、「1 か所で何でも相談や手続きができる体制を整備し容易に行えるようにする」の割合が52.4%と最も高く、次いで「社会保障制度（年金・医療・介護）の安定を図る」が42.2%、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が34.5%となっています。



# ヒアリング調査

## 調査目的

行政の関係機関や南あわじ市で活動する団体・企業等の福祉における実態を把握するとともに、市民アンケート調査等では把握できない現状及び課題をお聞きし、計画を策定する基礎資料として活用するために実施しました。

## 調査対象の内訳

| 分 類  | 名 称          |
|------|--------------|
| 行 政  | 市長公室         |
|      | 福祉課          |
|      | 地域包括支援センター   |
|      | 子育て支援センター    |
|      | 防災課          |
|      | 健康課          |
| 教育機関 | 保育所          |
|      | 小学校・中学校・高校   |
| 福祉施設 | わたぼうし        |
|      | きらら・ウインズ     |
|      | さくら苑         |
|      | 翁寿園          |
| 団 体  | 社会福祉協議会      |
|      | 連合自治会        |
|      | 老人クラブ連合会     |
|      | シルバー人材センター   |
|      | 連合婦人会        |
|      | PTA 連合会      |
|      | ファミリーサポートクラブ |
|      | 民生委員児童委員協議会  |
|      | 身体障害者福祉協会    |
|      | 手をつなぐ育成会     |
|      | NPO 法人いちばん星  |
|      | いずみ会         |
|      | グリーンポエム      |
|      | ホットサロン       |
| 企 業  | 三洋エナジー       |
|      | あわじ島農協       |
|      | 漁業組合         |
|      | 鳥取興業         |
|      | 高川商店         |
|      | 淡路マルマサフード    |
|      | 服装しらかば       |

## 結果概要

### 行政・教育機関

事業での課題や今後必要な取り組みにはどのようなものがありますか。

| カテゴリ    | 取り組み内容                                                                                                                                                                             | 課所名          |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 母子の保護救済 | 年々母子のDV被害や離婚件数が増加しており、母子の保護救済が急務。救済する上で、内容が複雑化しており、早期解決に向けてのプロセスの見直しが必要。                                                                                                           | 福祉課          |
| 保育所運営   | 子どもの人口（0～14歳）が現在全人口の13.3%（兵庫県13.8%）と減少傾向。南あわじ市では12.6%まで減少しており、今度の保育所運営方法を検討する必要がある。                                                                                                | 福祉課          |
| 生活保護制度  | 雇用情勢の悪化や格差社会の出現により社会が不安定化するなか、生活保護制度が安心して生活を送ることができる「最後のセーフティネット」として機能していくことが求められている。                                                                                              | 福祉課          |
|         | 生活保護制度の適正な制度の運用を図るとともに、要保護者の能力を最大限に発揮し、能力に応じた自立を援助していく必要がある。                                                                                                                       | 福祉課          |
|         | 要保護者の多くは、多様な援助の検討を求めている場合が多く、このような多様なニーズに応えるためには、調査の充実による状況の把握と的確な援助方針の設定が必要となる。そのためには、訪問調査活動の充実と、要保護者の生活実態の把握に努めるとともに、こまめにケース検討を行い、要保護者の問題に応じた自立支援プログラムを活用し、組織として適切に対応する体制づくりが必要。 | 福祉課          |
| 子育て支援   | 父親も子育てに参加しやすい環境づくり。（例えば、子育て中の父親のためにカメラ・ビデオカメラ教室、クラフトづくりなどのセミナーを企画）                                                                                                                 | 子育て学習・支援センター |
|         | 現在行っている「ママカフェ」の提供の拡大。                                                                                                                                                              | 子育て学習・支援センター |
|         | 一人で子育てに悩む閉じこもりママを掘り起こし、誰でも気軽に参加できる環境を整備し、関係機関や団体と連携し、ネットワーク化を推進。                                                                                                                   | 子育て学習・支援センター |
| 防災      | 福祉避難所の指定、災害時要援護者への災害情報の伝達方法について、災害時要援護者支援マニュアル（個別計画）の策定。                                                                                                                           | 防災課          |



| カテゴリ     | 取り組み内容                                                                                                        | 課所名  |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 自殺対策     | 全国、県内と比べ、淡路圏域では自殺の死亡率が高いことが問題。健康問題だけでなく、経済的、家庭的、勤務問題等、さまざまな原因が絡み合っているため、他分野とのネットワークづくりや連携した取り組みが必要。           | 健康課  |
|          | 今後もさらに、普及啓発、本人・家族の気付きやゲートキーパーとなる人材の育成を行い、自殺、うつを防ぎ、支えるしくみづくり。                                                  | 健康課  |
| 発達障がい者支援 | 乳幼児健康診査から把握された発達の気になるこの経過に応じて、必要な保健指導を実施しているが、発達障害者支援法により、健康診査での発達障がいの早期発見、就学前、学校、就労、地域での家族を含めた支援体制が必要とされている。 | 健康課  |
|          | 現状では、医療・保健・福祉・教育間での情報共有や支援のための連携体制が不十分で、継続した必要な支援がなされていない。そのため、関係者が情報共有をし、話し合える場が必要。                          | 健康課  |
| 子育て支援    | 孤立化する親の子育てをどう支援していくか。                                                                                         | 市保育所 |
|          | 保育所を利用していない親の子育てをどう支援していくか（家庭支援、保育ママ、出前保育）。                                                                   | 市保育所 |
|          | 子どもを遊ばせることはどの保育士もできるが、親支援には確かな保育観と一定の力量や人生経験が必要（保育士としての力量、保育士の専門性、自己評価）。                                      | 市保育所 |
|          | 地域の子どもたちすべてを視野に入れていく。                                                                                         | 市保育所 |
|          | 利用者のさまざまなニーズに対応するため、保育所と幼稚園の一体化。                                                                              | 市保育所 |
|          | コミュニケーションの取り方が下手になってきているので、人と人をどうつなぐか。                                                                        | 市保育所 |
| 世代間交流    | 三世代交流事業。昔遊び、注連縄づくりなど老人会の方にお世話になっている。                                                                          | 小学校  |
|          | 授業時数の確保のため、学校全体として、行事の精選に取り組んでいる。そのために、ボランティア活動などの時間確保が難しい。                                                   | 中学校  |

## 福祉施設

活動上の課題や問題点、課題に対しての対策について教えてください。

| 課 題                                                           | 課題に対しての対策                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人数の増加に対して訓練の頻度が取れない。                                          | —                                                                                                                                                            |
| 保育士、指導員の人材確保。                                                 | —                                                                                                                                                            |
| サービス管理者の人材確保・育成。                                              | —                                                                                                                                                            |
| 地域で小児の訓練をしてくれる所が少ない。                                          | 地域の訓練士の協力が得られるようにし、少しでも療育の関係者を増やす。                                                                                                                           |
| 利用者数の増加に応じ、定員数や職員配置のあり方などを検討する必要がある。                          | 施設内の各部署で職員を配置することにより、利用者からの相談などにこまめに対応。それでも十分とはいえず、重度障がい者への職員配置基準については、行政機関と協議する必要がある。(例えば、マンツーマンが必要とされる方についてはどうするのか。受け入れた場合、定員以外の枠組みとして職員を配置することを検討することも必要) |
| 施設入所待機者が多く、病院や老人保健施設から退院、退所を求められている要介護者を家族の要望通りに受け入れることができない。 | マニュアルに沿って入所検討委員会を開催。できる限り、介護者の家庭状況や介護度を考慮し、緊急性の必要が極めて高い介護者から入所してもらっている。                                                                                      |

スポーツ・レクリエーション、文化活動への取り組み状況や参加状況、今後の課題やご要望についてお聞かせください。また、今後、必要とされる取り組みについてお聞かせください。

### ＜① スポーツ・レクリエーション、文化活動への取り組み状況や参加状況＞

| 取り組み内容                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者会でサッカークラブを実施し、小学生の発達障がい児などが参加。                                                                                  |
| 施設内運動会、島内作業所フライングディスク交流会、浦壁地区グランドゴルフ交流会、のじぎくスポーツ大会。夏祭り、施設見学会、日帰り旅行、クリスマス会、餅つき。障がい者自立支援の集い、精神保健福祉大会、地域での催し、バザー参加など。 |
| 書道や手芸などの活動では文化展に出展作品を制作。音楽療法などの活動のほか、カレンダー作成やカラオケ、定期的なショッピングなどを計画。日常においては、リハビリ体操や口腔体操なども実施。                        |

### ＜② 今後の課題やご要望、必要とされる取り組みについて＞

| 取り組み内容                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------|
| 一緒に補助してくれる方がいない。障がいについて興味のある、ボランティアの方が増えてほしい。                           |
| 利用者が増える中で、異なるニーズへの対応がしにくい状況。参加できない利用者に対して参加してもらいやすいレクリエーションを考えていく必要がある。 |
| 高齢者が多く、外出行事などは希望者が少なく、遠出するのではなく近隣で楽しめる外出行事などを計画。                        |

サービスなどの情報提供や、困ったとき相談できる窓口、身近な相談体制について、不足していることや今後、取り組むべきことについてお聞かせください。

### <① 不足していること>

| 不足していること                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市によって支援される情報が異なる（医療体制、移動手段）。                                                                                     |
| 情報提供や困ったときの相談先が設定されていることを知らない方がほとんど。広報活動が必要。人が集まる場所（スーパーマーケット、病院、銀行など）へのポスターの貼り出しや広報誌への掲載により知ってもらえることができるのではないか。 |

### <② 今後、取り組むべきこと>

| 今後、取り組むべきこと                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 淡路島内で同じ支援が受けられるように各市での調整。                                                                            |
| 相談を受けた時の流れ、ネットワークづくり。市、社協、保健所、各事業所等、関係機関への情報を提供することで相談者がより適切な情報が得られ、サービスにたどりつくことができるしくみづくりを考えることが必要。 |
| 広報を利用してサービスなどの情報提供を積極的に実施。                                                                           |

身近な地域で生活する上で、施設や移動手段、情報の伝え方などで困っていることはありますか。また、今後、取り組むべきことについてお聞かせください。

### <① 困っていること>

| 困っていること                    |
|----------------------------|
| 車の免許がない方は療養に来たくても交通手段がない。  |
| 余暇活動の場所、機会が少ない。            |
| サービス利用料が高い。                |
| 交通の便が悪い。                   |
| 就労場所の不足。                   |
| 広報を利用してサービスなどの情報提供を積極的に実施。 |

### <② 今後、取り組むべきこと>

| 今後、取り組むべきこと                                                   |
|---------------------------------------------------------------|
| 社協など市の枠、関係なく使用できたらいい。                                         |
| 障がい者グループホーム・ケアホームの整備。                                         |
| 障害者自立支援法で定めのない障がいのある方が困っていることを支援できるような体制づくり（移送サービスや配食サービスなど）。 |

## 地震などの災害時について問題になることについてお聞かせください。

| 問 題                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自閉症などは、急なことには対応が難しいので、いろいろな場所で視覚的にわかりやすくすることが必要。                                                                |
| サポートブック（サポートファイル）作成の充実で関わった人がその子どものことが理解できる。                                                                    |
| 当事者が被災した際に、①自宅（当事者）まで非常食を届ける、②避難の誘導や案内を積極的に行う、③被災者の思いを聞くことで、こころのケアの支援を行う、④災害対策本部や各関係機関との協力、また連携を行う等が問題として挙げられる。 |
| 実際の災害時に対応できるような計画的な訓練が必要。実施内容は、①保存食の食べ方の指導、②施設・自宅での対応（被災現場を想定しての訓練）、③炊き出し、または避難場所での過ごし方、④当事者宅への配給訓練等が挙げられる。     |
| 防災訓練を規定通り実施しているが、夜間帯は職員が少なく、また女性が多い職場であるため、災害などが発生する時間帯において、重度の介護者に的確な判断や救助ができるか不安。                             |

## 南あわじ市のこれまでの地域福祉施策のよいところは何かと思いますか。

| よいところ                                                   |
|---------------------------------------------------------|
| 小学校での支援学級の先生が介助員でなく教諭。                                  |
| 子ども手当。                                                  |
| 障がい分野には制度のない送迎サービスを行うことで、地域のデメリットをなくし、全域から利用可能なようにしている。 |
| ボランティア活動ができる団体を積極的に施設に取り入れてもらえれば、より施設生活が充実する。           |

## 社会福祉協議会や行政に対する要望はありますか。

| 要 望                                                       |
|-----------------------------------------------------------|
| 車の免許がない方が社協を使い、療育への支援をしてほしい。                              |
| マンツーマン対応の必要な方への支援は、行政の特別な補助金が必要。                          |
| サービス事業所として開設している場合、せめて定員までは利用を受け入れるよう指導すべき（利用者選びは指導を厳しく）。 |
| 離島や過疎化の進んでいる地域への在宅介護の充実を図る。                               |

## 活動上の課題や問題点、課題に対しての対策について教えてください。

| 課 題                                                                                           | 課題に対しての対策                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 補助金の削減により活動を推進するために必要なマンパワーを確保するだけの財源が不足している。また、会費や共同募金、寄付金等の低迷により活動を推進するために必要な財源が十分確保できていない。 | 講座や研修会の開催、各団体などの会合での説明や住民が集まる場でのPRや広報誌・ボランティアセンターだよりを配布し、PRしている。        |
| 市民の地域福祉やボランティア活動に対する理解を深められていない。                                                              | 座談会などで社協のこと、地域福祉のことを話し合える場を設ける。                                         |
| 要介護状態にある人が「住み慣れた地域で安全に安心して暮らす」ためには、介護保険サービスだけでは不十分。制度の間にある人や制度の間にいる当事者のニーズを社協としてどう充足していくかが課題。 | 地域住民やボランティアに支援を依頼。<br>取り組みたいこと：地域住民のニーズに応じた社協独自の新しいサービス（外出支援、余暇支援等）の開発。 |
| 各地区間の格差（運営方法や活動方法）。                                                                           | —                                                                       |
| 少子高齢化などによる、役員の担い手の減少。                                                                         | まちづくり協議会など組織化について調査研究。                                                  |
| 閉じこもりがちな方の参加をどうしたらいいか。                                                                        | 難しいのが現状。                                                                |
| 会員の高齢化の進行。後継者となる若い（60歳代）の会員が少ない。                                                              | 就業相談の実施や会員の増強に努めている。                                                    |
| 仕事が職種により集中するときがあり、要望にこたえられない。                                                                 | —                                                                       |
| 景気により就業の機会が左右され、安定していない。また、補助金が減少しており、事務費によるセンターの運営が厳しくなっている。                                 | 広報誌や会員・役職員により、事業所への就業機会の確保に努めている。経費の節減を図るとともに、就業の拡大に努めている。              |
| 団塊の世代の会員は、ホワイトカラーの職種希望はあるが、厳しい仕事への希望が少ない。                                                     | 会員の希望職種だけでなく、できるだけ新職種にチャレンジしてもらうよう仕事を紹介している。                            |
| 市内23単位PTAの参加者が集まり、交流を図ることができる一方、活動後の振り返りを充分できていない部分がある。                                       | 「子どもたちを支え育てる“きずな”づくり」をスローガンに掲げ、活動を行う。各種委員会を設けて、計画・運営をする。                |
| 依頼者の子どもの保険制度が充実していないため、活動拠点（保育場所）でしか預かれない。                                                    | —                                                                       |
| 個人情報保護条例により、行政から身体障害者手帳保持者の情報が得られないため、会員の減少、高齢化が進んでいる。                                        | 市福祉課から身体障害者手帳交付時に南あわじ市身体障害者福祉協会加入の案内通知を同封しているが、加入申し出は少ない。               |
| 災害時の要援護者支援の仕方について、当団体自身が身体障がい者であり、障がい内容によりまちまちな対応が必要であるため、どのように対処していったらよいかわからない。              | 災害時要援護者支援について、市防災課、福祉課及び関係機関と協議し、対応していきたい。                              |
| 活動内容が形骸化しており、参加者も特定している。                                                                      | 会員への情報提供、周知を図るとともに、意見を徴収し、できるだけ多くの方が参加できるような取り組みが必要。                    |



| 課 題                               | 課題に対しての対策                                                           |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 参加してもらう会員の方を増やしたい。                | 会報などで行事のお知らせや情報などを細かく連絡できるように気を付けている。また、アンケートなどで行事の新しいアイデアを聞いている。   |
| 精神障がい者が安心して出掛けられる居場所、社会参加の場として利用。 | 精神障がい者の登録利用・送迎を実施し、自主作品づくりや喫茶作業、生活訓練や文化活動などを行いながら、社会参加、社会復帰を目指している。 |
| 会員の高齢化。若い会員がなかなか増えない。             | 親子の食育講座などで、入会を勧めている。                                                |
| 年々、食育教室の依頼が増えている。                 | 旧4町での支部活動を実践しているので、地域ごとに取り組むようにしている。                                |
| リスナーの高齢化。メンバーの高齢化。                | 朗読ボランティア養成講座（社協実施）でメンバー発掘。                                          |
| 活動メンバーの固定化。                       | 講習会などに積極的に参加し、聴きやすいテープをつくる。                                         |
| デイジー化に向けた、リスナーへの情報提供、対応が進んでいない。   | 音訳テープを通じて情報提供していく。                                                  |
| 里子のプライバシーの保護。                     | ボランティア会員に協力してもらっている。                                                |
| 子育て相談を受けたことに対して、専門の人にアドバイスが聞ける。   | 子育てなんでもダイヤルを開設したい。                                                  |

活動内容を通して考えられる今後の方向性について、どのようなものがありますか。また、今後の活動に取り組む上で感じている、南あわじ市の特徴はありますか。

#### <① 今後の方向性について>

| 今後の方向性                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域福祉を推進する上で、行政、社協、団体や企業、地域、住民が担う役割を明確にする。それぞれのエンパワメントを進め、南あわじ市の福祉力を向上させる。                                                         |
| まわりにある問題や課題を把握するため、サロンなど気軽に集える居場所づくり。                                                                                             |
| ボランティアの発掘・育成とボランティアとの信頼関係をつくる。                                                                                                    |
| 介護保険制度を遵守してサービスを提供するものではあるが、社協がより質の高いサービスを提供することで、地域の介護保険事業所のリーダー的な役割を果たすとともに、社協のサービスが地域のスタンダードになることで、地域の介護保険サービス全体のサービスの質を底上げする。 |
| 活動の担い手の減少による事業の縮小。                                                                                                                |
| 団塊の世代の入会を促進し、就業拡大と社会活動を充実させる。                                                                                                     |
| 農作業関係や草刈関係のきつい事業の後継者が少なく、人手不足が反映されており、今後、遊休農地などを利用したシルバー人材センターでの独自事業を考える。                                                         |
| 年間を通しての作業を、市・農協などと連携した就業ができる手立てを考えることも必要。                                                                                         |
| 行政と連携し、環境・子育て・介護などの分野での事業推進をする。                                                                                                   |
| より充実した活動を行えるよう、多くの方の意見を参考に活動を計画・運営していく。                                                                                           |
| もっと広報活動を行い、多くの方の応援をしていきたい。また、相談もできるように親しみのあるサポートを行いたい。                                                                            |

| 今後の方向性                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市内に在住する多くの身体障がい者の方々が当団体に加入して団結を図り、自立した生活が送れるよう互いに支え合うとともに、障がい者の人権尊重、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて活動する。 |
| 個人では難しいが、育成会でなら取り組めるレクリエーションを増やしたい。                                                           |
| 音楽療法など、訓練的なものを増やしたい。                                                                          |
| 地域の方とふれ合える活動も考えていく。                                                                           |
| 啓発活動を通じ、広く一般市民の理解を得て、法人の安定した運営の基盤を図る。                                                         |
| 次代の流れや地域のニーズを考えながら、テーマを決め、これからも市民の健康づくりに協力していきたい。                                             |
| デイジー化へのスムーズな移行。                                                                               |
| 個人的な要望（例えば、小説を読んでほしい、参考書を読んでほしい）にも対応していけるように活動を広げていきたい。                                       |
| 子育て相談に専門者のアドバイスがほしい。                                                                          |

## ＜② 今後の活動に取り組む上で感じている、南あわじ市の特徴＞

| 南あわじ市の特徴                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自治会単位や校区ごとのコミュニティの豊かさ。                                                                                |
| 漁業や農業など、地域の特徴があるので、地域福祉活動の内容にも広がりが期待できる。                                                              |
| □コミでサービスの質が伝わりやすい。                                                                                    |
| 会員の拡充、特に女性会員の掘り起こしを行い、魅力を感じる職域の開拓や社会活動が積極的にできる環境の推進と生涯現役としての「シルバー会員」の拡大を図る。                           |
| 「子どもを産みたい、育てたいまち」と市町の施政方針の中であるように、子育てに重点を置いている点。                                                      |
| 南あわじ市では、広報で障がい者雇用について特集を組み、広く市民に障がい者の理解について啓蒙・啓発を実施。また、平成 26 年度に開設する新庁舎建設計画においても障がい者雇用に努めることがうたわれている。 |
| 農家の方のお手伝いなどはないか。また、お年寄りのお手伝いなどでふれ合えることはないだろうか。                                                        |
| 一般市民の理解により、喫茶利用や街角ギャラリーとして、地域の方の絵画・写真の展示に協力している。                                                      |
| 農産漁産の豊富な南あわじ市なので、これからもより一層地産地消を進めていきたい。                                                               |
| 子育てなんでもダイヤルを開設したときに難しいと判断したときは、南あわじ市の相談員に相談できるようにしてほしい。                                               |

## 今後連携・協力関係を期待するもの、その内容

| 期待するもの、その内容                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社協で把握できていない活動者・グループ・団体がたくさんあるので、それらの把握に努め、新たな関わり方を探っていきたい。                                                                                                          |
| 商工会：買い物支援。                                                                                                                                                          |
| まちづくり協議会の組織化。                                                                                                                                                       |
| 市行政や市内経済団体などと連携し、あらゆる機会を通じて積極的な普及活動を推進し、地域の産物や伝統文化を育むまちづくりに寄与する事業展開を推進。                                                                                             |
| 市行政、農業委員会、農協との連携を取りながら、農地の管理、農作業の労力の配分などを考えた施策について、センターのできる分野でお手伝いする。                                                                                               |
| 「障がい者が地域で安心して暮らせる」「自分らしくいきいきと生きる」そのような社会を実現するためには、本人や家族自らが公的支援を活用しながら努力する環境をつくるとともに、地域でサポートする体制づくりが必要。誰もが障がい者になるかもしれないので、啓蒙・啓発を通して障がい者に対する理解を深め、支えあい助け合う精神を培うことが大切。 |
| 地域の老人会や子ども会：地域の清掃作業等。                                                                                                                                               |
| 登録利用者の増員。                                                                                                                                                           |
| 行政の持っている地域の食についての情報などがほしい。                                                                                                                                          |
| 市役所：活動をもっと知ってほしい。リスナーの発掘（窓口で音訳テープのことをPR）。市の広報誌を読んでいることに対して理解、協力を。                                                                                                   |

## 企業

### 社会貢献活動や福祉に関する取り組みをされていますか。

| 取り組み内容                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------|
| 町ぐるみ健診、兵庫県障がい者就労応援企業、AED 設置企業、認知症サポーター養成研修の実施、食農教育活動、共同募金、赤十字活動に協力、献血活動 |

### 災害が発生した場合の取り組みをされていますか。

| 取り組み内容                                    |
|-------------------------------------------|
| 消防団協力事業所。災害時の物資の供給と平常時の防災活動協力に関する協定を市と締結。 |

### 地域において企業・法人等自身の課題はどのようなものがありますか。（福祉的な要素を含みます）

| 課 題            |
|----------------|
| 雇用の促進、雇用の維持。   |
| 高齢者の雇用促進、雇用創出。 |
| 障がい者の雇用促進。     |



# 地区別懇談会

## 地区別懇談会の目的

市民アンケート調査や統計をふまえ、地域の現状や課題、今後の方針をワークショップ形式で話し合っていたいただき、計画を策定する基礎資料として活用するために実施しました。

## 参加者の構成

緑、西淡、三原、南淡の4つの地区ごとに各団体から参加者を募り、加えて公募での参加者を募集しました。

各地区で2班ごとに分かれ、全3回のワークショップを実施しました。

## 地区別懇談会の進行

### ■ワークショップの内容及び開催スケジュール

|         | 開催日時              | 会 場                                           | 内 容                                                                                                                       |
|---------|-------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体会・第1回 | 平成23年<br>1月24日(月) | 緑市民<br>センター                                   | <b>【スタートアップ勉強会】</b><br>ワークショップを開催する前に、地域福祉の理念や、今後のあり方、アンケートや統計からみる南あわじ市の現状などを共有しました。                                      |
|         |                   |                                               | <b>【地域のよいところ、問題・課題について】</b><br>各地区のテーブルに分かれ、身近な地域での暮らしの中で自分自身が日頃から感じている地域のよいところや生活課題・福祉課題についてKJ法を用いて話し合い、現状をまとめグループ化しました。 |
| 第2回     | 平成23年<br>2月7日(月)  | 緑市民センター<br>西淡庁舎<br>三原公民館<br>南淡公民館<br>(各地区で実施) | <b>【現状・課題に対する取り組みについて】</b><br>第1回と同様に、KJ法を用いて現状・課題に対する取り組みを話し合いました。<br>「自助」「共助」「公助」の視点から、地域で実際に行動していくための方策について検討しました。     |
| 全体会・第3回 | 平成23年<br>2月23日(水) | 緑市民<br>センター                                   | <b>【まとめ】</b><br>座談会報告会に向けて、これまで話し合った検討内容をふまえてまとめを行い、具体的な地域活動の方向性をまとめました。                                                  |
|         |                   |                                               | <b>【座談会報告会】</b><br>各地区で検討された課題と方向性を、市全体としてまとめ、グループごとに発表し、共有しました。                                                          |

※ KJ法：アイデアや意見をフセン紙に記入し、グループ化する作業のなかから話し合いを進める手法。考案した日本の文化人類学者川喜田二郎氏の頭文字を取って“KJ法”と名付けられている

## 各回のまとめ

### 第1回 地域のよいところ、問題・課題について

#### ■緑地区1班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【地域力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 小さな地域なので顔が見える</li> <li>• 近隣との関係、助け合いの関係が保たれている</li> <li>• ご近所(隣保)でお講など集まる事があり、よくお互いを知っている</li> <li>• 田舎地域では近所の人達との連(つながり)有り一人暮らし老人達を住民達が見守っている</li> <li>• かざり気なく和気あいあい</li> <li>• お宮さんの掃除など共同作業皆です</li> <li>• 農業者等は各種補助金等をうまく利用しているし団体の会合にも良く意見が出ている</li> </ul> <p><b>【交通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市(神戸)に近い。緑から1時間で三宮へ出られる</li> <li>• 通勤通学の交通の便</li> <li>• 他の地域と比べて行動がしやすい(交通の便、主に広田地区)</li> </ul> <p><b>【福祉サービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 福祉サービスが充実している(介護保険)</li> <li>• 子どもと高齢者がふれあうイベントがある</li> <li>• 高齢者とのふれあい(敬老会、緑風館)</li> <li>• 病院が近くにある</li> <li>• 公営住宅が整備されている</li> </ul> <p><b>【自然】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 津波の心配がない</li> <li>• 野菜がおいしい(朝市)</li> <li>• 広田梅林がある。感応寺等も</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い世代の方の人口も他と比べて多い(偏りはあるが)</li> </ul> | <p><b>【地域力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 障がいを持っている人達は地域の集会などに参加することが少ない</li> <li>• 団地住民と地域の交流</li> <li>• 商店など身近に行ける店がなくなっている</li> <li>• 集合住宅に住んでいる人達と古くから住んでいる人達との意見の調整する場がない</li> <li>• 個人商店の減少</li> <li>• 独居・高齢者世帯の増加により、色々な面で不安が多くなっている</li> <li>• 小中学校の児童生徒数減少(倭文地区)</li> <li>• 高齢化</li> <li>• 顔の見える関係の低下(隣の事も知らない)</li> </ul> <p><b>【交通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域を車で通って行く人達が道路ばたにゴミをすてて行くのがこまる</li> <li>• 交通の便の格差がある</li> </ul> <p><b>【福祉サービス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 福祉サービスが一ヶ所に集中している</li> <li>• 病児保育がない</li> <li>• 産休明け乳児を受け入れる公的施設がない</li> <li>• 施設への入所がなかなかできない</li> </ul> <p><b>【自然】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 若者達が農業をどう担いうるか</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の活性化</li> <li>• 陰の部分(離婚された方、若い方等)</li> <li>• 団塊の世代をどのようにいさせるか? ボランティア、シルバー人材など</li> </ul> |

■緑地区 2 班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割りと外灯が多くついているので、夜が明るい(広田地区)</li> <li>・犯罪が少ない</li> <li>・防犯協会がしっかりしていて、リーダーの力もあるかも知れないが行動に現われているのがうれしい</li> </ul> <p><b>【住環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広田地区は住みやすい環境である</li> <li>・古くから住んでいる人達は家族構成もわかっているなので、互いに心配しあえる</li> <li>・近所付き合いが濃い</li> <li>・近所付き合いが保たれている</li> <li>・新住民が増加し旧来の意識に変化が見られる</li> </ul> <p><b>【地域活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい世代の自治会加入</li> <li>・地区自治会がしっかり活動している</li> <li>・公民館、神社の清掃など昔通りに行われている</li> </ul> <p><b>【高齢者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な間は、家の中にひきこもらず、田畑の仕事に従事している人が多い</li> <li>・少子高齢化が進んでいるが老人の皆さん方が元気だ</li> <li>・住民健診など健康福祉が充実している</li> </ul> <p><b>【商圏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的生活の便が良い。店舗等も近い。</li> </ul> | <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段がない</li> <li>・通学路の安全の見直し</li> <li>・道路(通学・買い物)が狭い</li> </ul> <p><b>【住環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく家を建てて住むようになった人たちとの交流(隣の地区)がなく、顔も知らない</li> <li>・世間が狭く、噂が広がりやすい</li> <li>・人が集う場が少ない</li> <li>・家に閉じこもりがちな高齢者世帯が多い</li> <li>・地域のつながりが希薄化し、顔が見えにくくなっている</li> </ul> <p><b>【地域活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に対し無関心な人が増加している</li> <li>・地域活動の継続がむずかしい</li> <li>・地区の役が大変である</li> <li>・10年前にくらべると地域ごとに行う催しが少なくなっている。縦のつながりが薄くなってきているのかも知れない</li> <li>・地域・学校行事の参加者が少ない</li> </ul> <p><b>【高齢者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉の情報がよくわからない</li> <li>・他の人の世話になりたくないと考えて、サービスを受け入れない</li> </ul> <p><b>【児童】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの数が少ない</li> <li>・子どもの人数減少(倭文地区)</li> <li>・学童保育の充実</li> </ul> <p><b>【商圏】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街のシャッターが多くなっているのと高齢化が進んで若者が前に出ることを良しとしない風潮がある</li> <li>・お店がない(倭文)</li> <li>・広田の住人又は商店街の人は小銭を持っているので、今の生活を楽しんでいる、他の人のことにはあまり関わりたくなくなっているのではないかと</li> </ul> |

■西沢地区 1 班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の繋がりが強い(町内会、老人会、子ども会)</li> <li>・いきいきサロン活動により近所の人とのコミュニケーション、元気確認、ボケ防止が出来ている</li> <li>・公民館活動で地域の交流広場がある</li> </ul> <p><b>【自然】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯の川温泉がある</li> <li>・自然環境が抜群</li> <li>・海・田・山と変化があり風光明媚</li> <li>・野菜・魚などいただくことが多く生活の足しになっている</li> </ul> <p><b>【老人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盆踊りや昔からの伝統を引き継いでいっている</li> <li>・老人会の方々が活発に活動されている</li> <li>・配食ボランティアがある</li> <li>・一人住まいの人の安心が確認出来ている</li> <li>・老人会 会員弱年者(60歳～)の加入</li> </ul> <p><b>【子どもとあいさつ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミステーションなどではあいさつはよくできている</li> <li>・児童のあいさつ運動、おはようパトロールの実施(松帆地区)</li> <li>・子ども見守り隊の活動</li> </ul> | <p><b>【地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低地の防災対策(平成 16 年の台風など)</li> <li>・公民館活動の活用の広げ方(同じ人だけの活動になっている)</li> <li>・地域の行事への関心の低下</li> <li>・消防団、団員数の確保</li> <li>・婦人会、会員の減少</li> </ul> <p><b>【老人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流(子ども、保護者、老人)</li> <li>・老人の親睦(花見、カラオケ、グラウンドゴルフ等)</li> <li>・引きこもりがちの人を引っ張りだす難しさ</li> <li>・配食サービスにもれた人の安心確認が出来ていない</li> <li>・独居老人の増加</li> <li>・高齢者のみの家族のゴミ当番作業が難しくなっている</li> </ul> <p><b>【子どもとあいさつ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が働く場が少ない</li> <li>・子どもは少ない</li> </ul> |

■西淡地区2班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【子育て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭り、お盆の行事には子ども達も積極的に参加してくれている</li> </ul> <p><b>【交流の場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロン、いきいきサロンの実施・開催</li> <li>・近所とのつき合いがかなりできている(色々な団体とのつきあい)</li> </ul> <p><b>【防犯・防災】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防犯グループで夜間パトロールをしている</li> <li>・防犯・防災が充実している</li> </ul> <p><b>【高齢者福祉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センター等の施設が近くにあり利用しやすい</li> <li>・シルバーの人達がお互いに健康に気を付けている</li> </ul> <p><b>【福祉活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に熱心に取り組みができている</li> <li>・地域の若い方が自分の知識をボランティア精神でよく協力して下さる</li> </ul> <p><b>【移動手段】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・らんらんバスの運行(75歳以上高齢者、障がい者は運賃無料)</li> <li>・コミュニティバスの路線が限られているが、比較的利用しやすい</li> </ul> <p><b>【地域の特色】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境(自然が一杯)</li> <li>・風景がよい</li> <li>・地域住民の関係が良い</li> <li>・魚類がおいしい</li> </ul> | <p><b>【子育て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の統合により地域内の子どもの顔がわからない</li> <li>・延長保育がない(松帆地区)</li> <li>・学童保育がない(松帆地区)</li> </ul> <p><b>【交流の場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が気楽に集まる場所が少ない</li> <li>・グラウンドゴルフ、ゲートボール等に参加できない人</li> <li>・子どもが安心して遊べる公園・施設が少ない</li> <li>・独身の若い男女が多い</li> </ul> <p><b>【防犯・防災】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が無い道が多く歩行者が危険</li> </ul> <p><b>【高齢者福祉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居高齢者の増加</li> <li>・独居高齢者と地域の連絡網をもっと密にしたい</li> <li>・要介護者、施設待機者の増加</li> </ul> <p><b>【福祉活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の役割をもっと良く知りたい</li> <li>・公民館の有効利用現在は老人会、女性会が中心となっている</li> </ul> <p><b>【移動手段】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を運転できない人の買い物・医者への足の確保</li> <li>・バスの運行について、走る路線で乗り降りが自由になっているか?</li> <li>・免許を持っていない高齢者の移動手段が不便</li> <li>・スーパー、商店までの移動手段(近所にスーパー等の店が少ない)</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人会の会員の人達に役に対してゆとりがみられない</li> </ul> |



| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【地域コミュニティ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所の付き合いがある近所の方が、近隣住民のことを良く知っている</li> <li>・地域の人に見守られている</li> <li>・15年間続いている、あいさつ運動。大人、子どもを通じてあいさつ交流がある</li> <li>・近所の人との付き合いが良好。お互い協力し合える</li> <li>・人がおだやかである</li> <li>・あいさつができる</li> <li>・まだ地域の会や集まりがある</li> </ul> <p><b>【施設環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動がまだ活発である</li> <li>・集会所がきれいに管理されている</li> <li>・多くの人の目にふれる所に公園があり、子ども達が良く利用している</li> <li>・地域との交流がある。施設訪問等(保育所)</li> <li>・病院や歯科医院、クリニックがたくさんある</li> <li>・福祉事業所が多い</li> <li>・大型店、小さな商店があり、買物がしやすい(市地区)</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化時代に保育所入所の定員増となっている</li> <li>・自治会に加入していない家庭の子どもさんも地域の祭り行事など参加できる</li> </ul> | <p><b>【地域環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放棄田の増加</li> <li>・池や公共施設の管理が困難になってきた</li> <li>・人数が多い分人のつながりを大切にしたい</li> <li>・人数制限をしなくてはならない(保育所)</li> <li>・街灯が少ないので暗い</li> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・犬のフンがかなり目立つ。看板があっても無視されている</li> <li>・深い近所付き合いがない。頼みごとまでできる関係にない</li> <li>・農作業に忙しく、ボランティアなどに参加する余裕がない(八木)</li> <li>・通学路の外灯を付けてほしい(島井～入田間)</li> <li>・保護者以外との交流の機会がなかなか持てない</li> <li>・かつてのように阿波踊りの連を作って、地域を活性化したい</li> </ul> <p><b>【高齢者、一人暮らし】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者が集まれるところが少ない</li> <li>・認知症の方の安全を守る</li> <li>・ひとり暮らし、高齢夫婦世帯が多い</li> <li>・子どもが島外に住んでおり、近くに頼れる人がいない</li> <li>・一人暮らしの老人の安否確認が難しい</li> </ul> <p><b>【自治会等の加入率の低下】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の会員が減り、会がやりにくい(福祉の会)</li> <li>・アパートの住人の自治会加入がないため子どもへの差別が生じている</li> <li>・自治会加入率が低い</li> <li>・地域の役員の担い手が少なくなった</li> <li>・老人会未結成</li> </ul> <p><b>【子ども・若者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お勤めしている母親の子育て支援で延長保育を実施しているが、母親の娯楽の為に延長している保護者もいる</li> <li>・子どもの減少、近所の子どもに年に1回くらいしか会わない</li> <li>・ひきこもりの若者への対応がほとんどできていない</li> <li>・中間年代層の方の社会参加少ないのでは</li> <li>・働くところが少ない</li> <li>・失業者が多い</li> </ul> |

■三原地区2班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【高齢者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの見守りは高齢者の方が協力的である</li> <li>• 老人クラブの行事参加が多い</li> </ul> <p><b>【子ども】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 家庭生活が安定している(朝食、給食費)</li> <li>• 子どもに対しての見守り活動がすばらしい</li> <li>• 海外への留学研修の制度がある</li> <li>• 学校教育に対して協力的である</li> </ul> <p><b>【地域コミュニティ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人間関係のつながりが深いように感じる</li> <li>• スポーツを通して親子、地域のふれ合いができる</li> <li>• 田や畑が多く、広々とした環境</li> <li>• 四季の移り変わりが良くわかる</li> <li>• 地区ではリサイクル活動を熱心にされている方もいる</li> <li>• 地区の美化に協力的である。(部落全体、特に老人クラブ)</li> </ul> <p><b>【施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 他市に比べ少し財政状態が比較的健全</li> </ul> | <p><b>【高齢者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一人暮らしのお年寄りが増えてきた</li> <li>• 高齢者とか独居の方がいても声をかけにくい現状がある</li> <li>• 高齢者・独居世帯においては、交通面で不便である</li> <li>• 家族がいるところは高齢者に優しくない</li> </ul> <p><b>【障がい者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 障がい者福祉は他市に見習うべし(遅れている)</li> <li>• 目の不自由な方への支援が少ない。老人クラブでは出来ない</li> </ul> <p><b>【子ども】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童数の減少</li> <li>• 子どもが安心して遊べる場所が少ない</li> </ul> <p><b>【地域コミュニティ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 共に協力出来る世代間の仕事または事業があればと思う</li> <li>• 地域活動に参加される方は閉鎖的な方もいる</li> <li>• 新しく住民になったが、部落の付き合いがない</li> <li>• 無縁社会の家庭になっている</li> <li>• 地域で発言しづらい</li> <li>• 新しい住民が自治会に関わらない(閉鎖的)</li> <li>• 地域のつながりが強いが閉鎖的</li> <li>• 相談できる人がいない(家族以外で)</li> </ul> <p><b>【施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 福祉全般、もっと前へ進める必要がある</li> <li>• 他国への交流事業をもっとやる必要がある</li> </ul> |



## ■南淡地区1班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【子ども】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校の教育活動に協力的である</li> <li>• 子どもは素直、・学校への手厚い協力(阿万)</li> <li>• 社会スポーツが盛ん</li> </ul><br><b>【高齢者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢の方で元気な人が多い</li> <li>• 老人クラブ活動に熱心</li> <li>• 産地直売が活発化</li> </ul><br><b>【地域】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会を中心とした活動が活発である</li> <li>• ゴミの出し方が良い</li> <li>• 自然が豊かである</li> <li>• 情に厚い</li> <li>• 火災警報器を自治会で全戸配置(沼島地区)</li> <li>• 伝統芸能が継承されている</li> <li>• 学校支援ボランティアがひろがっている</li> </ul> | <b>【子ども】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 健康施設、文化施設が少ない</li> <li>• 子どもの生活にゆとりがない(塾、社会体育等)</li> <li>• 若者の働く場所が少ない</li> </ul><br><b>【高齢者】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 独居生活者にとって不安になる状況がより深まる憩える場がない</li> <li>• 一人暮らしの人が安心して暮らせているのか</li> <li>• 高齢者の買物の場所が少なくなっている</li> <li>• 高齢者の買物が困難</li> <li>• 車イスや電動自動車が移動しにくい</li> </ul><br><b>【地域】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業立地は「人、物、金」の3要素が必要条件</li> <li>• 若い人が少ない</li> <li>• 物(仕事)がない</li> <li>• イノブタが出没する</li> <li>• 人口減少でどうなるかの意識を高める</li> <li>• 総合的な福祉センターがない</li> <li>• 地域意識が強い⇒島国根性⇒団結してやろうという気持ちがない</li> <li>• 交通の便が悪い</li> <li>• 景勝地、史跡、歴史的建造物、人物が少ない</li> <li>• 日常生活に必要な物品、特に食料品を購入するのに歩いていける範囲に店がない</li> <li>• 働く所が少ない</li> <li>• 後継者不足(特に農業、漁業)</li> <li>• 未婚男性(特に40代)が多い</li> </ul> |

## ■南淡地区2班

| 地域のよいところ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 問題・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【環境】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝統文化が盛ん</li> <li>• 海産物、農産物の特産品が多い</li> <li>• 食べ物が豊富(新鮮な魚類、野菜等)</li> <li>• 海、山がある(景色がきれい)</li> <li>• 気候が温暖である</li> <li>• 観光地が多い</li> </ul><br><b>【地域活動】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域活動に参加する方が多い</li> <li>• サロンの参加者が多い</li> <li>• 人情豊か(親しみやすく、よそ者でもすぐ受け入れてもらえる)</li> <li>• 民生委員さんの活動が活発</li> <li>• 老人会活動が活発で元気な老人が多い</li> <li>• 気さくに声かけをしてくれる</li> <li>• 近所との付き合いがマメである&lt;面倒見が良い&gt;</li> </ul> | <b>【防犯】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 不漁のため、福良の街は大変</li> <li>• 津波の防波堤。早急に実施してほしい</li> <li>• 地震・津波等の対策</li> <li>• 防災活動に地域のネットワークづくり</li> </ul><br><b>【人づくり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 行政が老人に頼りすぎる</li> <li>• 婦人会の活動も弱体化した</li> <li>• 若い人の参加が少ない</li> <li>• 中年層の活動強化</li> <li>• 高齢化による一人暮らしの老人への対応</li> <li>• 高齢者が多く孤立が心配</li> <li>• 地区の婦人会が減ってきている</li> <li>• 少子高齢化が著しい</li> <li>• 核家族化で地域の行事への参加が少なくなってきた</li> <li>• 孤独死等をふせぐ為に電気・ガス・水道、新聞配達等を活用した見回りが必要。</li> </ul> |

## 第2回 現状・課題に対する取り組みについて

### ■緑地区1班

| 自助（個人）                                                                                                                                | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 公助（行政）                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の隣3件の住宅の情報を把握し、見守れる関係をつくる</li> <li>要援護者の方がどんどん自分から手をあげる</li> <li>民生委員、消防、自治会に知らせる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの世代に出来る事を情報収集し、それを活かした活動を行う（ボランティアや催しなど）</li> <li>団地住民と地域住民との交流の場を設定する（イベント等）</li> <li>地域でイベント。例えば隣保対抗グラウンドゴルフ大会など</li> <li>地域での集まり（催し）の情報を住民の方に知らせる</li> <li>団塊の世代の活動の場を設ける</li> <li>高齢者と若者との世代交流の場を作る事</li> <li>高齢化、独居が進行している地域での見守り体制を構築する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>制度などの情報発信。わかりやすく、何度でも</li> <li>高齢者や障がい者が地域に出向けるように、その時だけでも送迎車を出す</li> <li>空き家などを利用した小規模な施設（高齢者や小児共に受けられるサービス）</li> <li>福祉サービスなどの催し、ふれあいの場を地域の方にも伝え、誰もが交流できるようにする</li> <li>共稼ぎ保護者のために病気の子どもを預かる施設を作り、子育て支援する</li> </ul> |

### ■緑地区2班

| 自助（個人）                                                                 | 共助（地域・団体）                                                                                                                              | 公助（行政）                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>老人会へ加入して楽しい友達付き合いをする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>活動リーダーづくりと支援</li> <li>地域で活動していく仲間づくり</li> <li>ふれあい・いきいきサロンでの交流</li> <li>地域の防犯活動に参加する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>公用車の活用</li> <li>地域乗り合いバスの検討（コミュニティバス）</li> <li>庁舎跡地の活用を働きかけていく（学童、保育）</li> <li>通学路に街灯の設置（倭文地区）</li> <li>観光資源、特に梅林の見直しをして、増林しなければならない。また、管理経費が必要となっているのでその費用を公から出してもらいたい</li> </ul> |

## ■西淡地区1班

| 自助（個人） | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                                        | 公助（行政）                                                                                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>• いきいきサロンのPR。各地区くまなく開催できるようにする（ごく一部にならないように）</li> <li>• 老人会の年齢を上げる</li> <li>• 別の団体を作る</li> <li>• 独居老人や高齢者が災害になった場合に、避難方法を地区の住民が共に考え、防災に備える事が必要</li> <li>• 当番制のものをづくり、つながりを持つ</li> <li>• 安否確認のネットワークづくり（新聞、郵便等）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 島外の人に田畑を依頼、受け入れ体制を作る（PR→紹介→指導）</li> <li>• 企業誘致<br/>分譲地を作る</li> </ul> |

## ■西淡地区2班

| 自助（個人）                                                                   | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 公助（行政）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢者自身も積極的に色々なことに参加する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光ボランティアの活動</li> <li>• 小学生の夏休み期間中に山の学園を開催（伊加利地区）</li> <li>• 老人会の有志によるボランティア奉仕</li> <li>• 独居老人と地域のつながりをつくる。防災、防犯上必要</li> <li>• 独身男女のふれあいの場をつくる</li> <li>• 新聞牛乳配達等の方と連携して、ポストが溜まっていれば情報提供してもらう</li> <li>• 子どもたちと独居老人の絵手紙交流</li> <li>• 高齢者世帯の見守り、町内会を中心としてもう少し連絡を（個人情報保護法との絡みあり）</li> <li>• 独居老人世帯の増加には、地域での声かけ（隣保など）民生委員等の定期的訪問等で対応</li> <li>• 婦人会役員の年齢を60～65歳まで上げてはどうか</li> <li>• 個人商店での宅配（買物支援）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 幼稚園・保育所等の延長保育（時間延長）、需要を把握しての学童保育施設の併設</li> <li>• 地区はさびしくなるが幼稚園の統合を考えてみてはどうか<br/>送り迎えはバス運行で</li> <li>• 延長保育可能な保育園の充実</li> <li>• 中学校を統合してはどうか</li> <li>• 公民館をもっと気軽に利用できるようにしてほしい（新庁舎完成後を目指して）</li> <li>• らんらんバスの途中乗車可能の統一を</li> <li>• らんらんバスへの乗り降りがバス停以外でも自由にできたらよいと思うが</li> <li>• らんらんバスに対し目的地を持って運行してほしい。買物行き、病院行き等時間帯の誘導目的を持って</li> <li>• タクシー券の発行</li> <li>• コミュニティバスだけでは移動は不十分。タクシー券への補助なども考えては</li> <li>• 商店が減って買物がしにくいところへは移動販売車が出向くシステムが必要では</li> <li>• 買物・病院が不便なのでその対策巡回バス</li> </ul> |

■三原地区1班

| 自助（個人）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 公助（行政）                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛犬の散歩時に他犬の糞も回収する</li> <li>・認知症の方の安全対策を関係機関に連絡・相談する</li> <li>・認知症の方の安全、民生委員の方と連携して家族の方に見舞いに行く</li> <li>・隣近所の独居老人に気軽に買物をしてあげたり手伝ってあげる等、声かけをしてあげる</li> <li>・八木にふれあい広場の施設が建設されつつあるので、保育所からも出店（未就園児 子・老人会）を計画してふれあう機会を作ってあげたい</li> <li>・あいさつはまず自分から</li> <li>・行政に防犯灯設置を要望する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全島一斉清掃や近所の清掃活動時に犬の糞を片付ける</li> <li>・犬の糞について広報紙で広くよびかける</li> <li>・ウォーキングしている人を活用、ビニール袋をポケットに入れて犬の糞を回収してもらう</li> <li>・認知症の方の安全について、社協の相談員や福祉部への連携をする</li> <li>・地域で認知症の人の存在を知る。それがオープンにできるような地域づくりや認知症への正しい理解を広げる</li> <li>・地区単位で高齢者のサロンをつくる</li> <li>・隣保の中で毎日声かけをしあい、安否確認や困りごとはないか聞く</li> <li>・公園に子どもも高齢者も集えるような遊びの場（機会）をつくる</li> <li>・一人暮らしの老人の見守りを地域で共通理解（両隣の家）に依頼等）</li> <li>・交流の場づくりとして、若い人・女性の参加に狙いを定めた取り組みを増やしていく</li> <li>・集会所を地域の集まりの場としてもっと活用する。日常的に出入りが可能なようにする</li> <li>・地域の方が保育所に出入りでき、自然な交流ができるようにする</li> <li>・目的・狙いを明確にして参加してよかったと思える行事を催す</li> <li>・交流広場や地域活動で地域全体で人のつながりを築く</li> <li>・地元以外の人（自治会に加入してない）にも行事等を声かけし参加してもらえるようにしていく</li> <li>・マンション等の人には大家さん・管理人さんが主となり率先して行事に参加してもらう</li> <li>・「県民交流広場」で阿波踊りの参加者を募集し練習を行う</li> <li>・若い世代・中高年の世代の方でどんなことなら手助けできるか聞いてみて、実行に移す</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの老人への定期的訪問</li> <li>・交流事業をする時、事務的処理の負担が大きいので公的支援を</li> <li>・子どもが楽しく遊べる場づくり</li> </ul> |

## ■三原地区2班

| 自助（個人）                                                                                                                         | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 公助（行政）                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつからの声かけ</li> <li>・新しく来た人は最初にそのコミュニティに入る口火がほしいと思うので地区の誰かがつながりを作るように声かけをする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル活動を頑張った場合、何かごほうびのようなことがあればもっと熱心に取り組めるのでは</li> <li>・学校教育に協力的な人に（高齢者など）もっと学校の中に入ってきてもらって授業等に参加してもらおう（様々な世代の交流として）</li> <li>・スポーツが苦手な子や高齢者などにも参加できるサークルがあったら参加できるかも</li> <li>・地域コミュニティはスポーツ・ふれあい事業が地域では多く企画され参加者も自分に合ったものを選ぶ。また、仲間作りも共助につながっている</li> <li>・地域で自治会（老人会、保護者会）を中心にして、子どもが安心して遊べる場所を確保する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体不安の方への取り組み 総合的な運営、バス、タクシー</li> <li>・らんらんバスの路線充実（手をあげたらとまってくれるようにする）</li> <li>・空き地（田畑）が多いように思うが、そこを子どもの遊び場やドッグラン等に利用できないか</li> </ul> |

## ■南淡地区1班

| 自助（個人）                                                                                                                                  | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 公助（行政）                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所などの確認・各自治会への報告</li> <li>・若い時からボランティア登録をする</li> <li>・子どもの活動は、保険をかけておく（子どもを預ける時には）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会の業務拡大</li> <li>・第6次産業を起こす</li> <li>・災害対策では、社協と自主防災（消防団）との連携</li> <li>・婚活などの広報に努める</li> <li>・社協と商工会との連携</li> <li>・地域リーダーの育成</li> <li>・家の近くに集まれる場所づくり</li> <li>・地域行事（地域全体で交流）を増やす</li> <li>・社会体育等でしつけ、マナーを身につける（学ぶ）</li> <li>・学校教育と社協との連携をとり、福祉教育を行っていく</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バス・タクシーの方法論の検討</li> <li>・災害対策として行政は、広報に努める</li> <li>・先進地域のモデルを参考ににする</li> <li>・空き施設の利用をしやすくする</li> <li>・施設使用料の免除</li> <li>・道路改修など車イス、電動自動車の講習会を開く</li> </ul> |

## ■南淡地区2班

| 自助（個人）                                                                                                                                                                                         | 共助（地域・団体）                                                                                                                                                                                                                                   | 公助（行政）                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが防災・防犯を意識する必要がある</li> <li>・防災訓練に参加する</li> <li>・共済に加入する</li> <li>・イベントに対する企画力を向上させる</li> <li>・住民一人ひとりがもてなしの心を持つ</li> <li>・自分のできる事は進んでする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員、行政、自治会との協力</li> <li>・地域間の情報共有</li> <li>・地域活動の仕掛け人を育成する</li> <li>・イベントの企画段階に若者を入れる</li> <li>・地域を挙げて祭りを盛り上げる</li> <li>・趣味、生きがいを通じて組織をつくる</li> <li>・次世代の育成（地域の担い手）</li> <li>・あいさつ運動の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・防犯について、各組織との連携を強化する</li> <li>・民生委員の情報を行政も把握する</li> <li>・津波対策を早急に行う</li> <li>・若者が定住するための雇用の確保</li> <li>・青年団の集まれる場所の提供</li> <li>・新たな組織のあり方を考える（各団体を総括する組織等）</li> <li>・地域活動を活発化させるため、金銭以外で謝礼を提供する</li> </ul> |



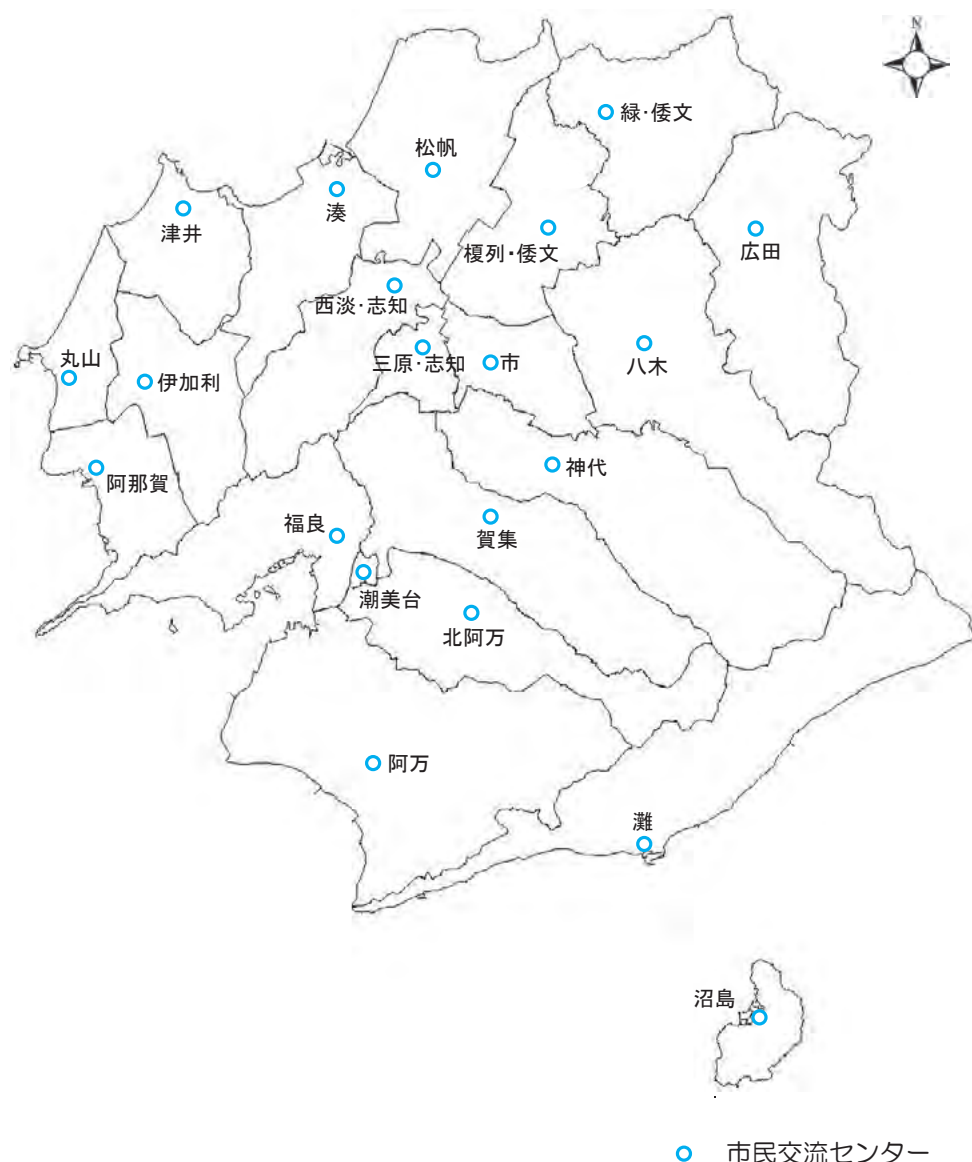
# 地域資源の整理

## 地域資源の整理に至った経緯

平成 17 年 1 月 11 日に旧三原郡 4 町（緑町・西淡町・三原町・南淡町）が合併し、南あわじ市が誕生しました。南あわじ市では、合併後から旧町の庁舎を活用し、分庁舎方式での市民サービスを提供してきました。

しかし、今後は分庁舎方式を廃止し、平成 26 年度中に新庁舎を建設し、地域づくりの活動拠点として小学校区単位（旧小学校区単位に潮美台を加えた 21 ヶ所）に市民交流センターを設置し、地域づくり活動の充実をめざそうとしています。

小地域福祉活動の推進をめざしている社協は、市がすすめるようとしているまちづくりに柔軟に対応し、社協らしい活動のあり方や組織の再編を検討していく必要があります。つまり、今後の活動のヒントとするために地域資源の整理を行いました。



市民交流センターの配置（平成27年4月開設予定）

## 【介護保険サービス事業所】 居宅サービス

|    | 地域別   | 居宅<br>介護支援 | 訪問介護 | 訪問看護 | 訪問<br>リハビリ | 居宅療養<br>管理指導 | 通所介護 | 通所<br>リハビリ | 福祉用具<br>貸与 | 福祉用具<br>販売 | 短期入所<br>生活介護 | 短期入所<br>療養介護 | 特定施設 |
|----|-------|------------|------|------|------------|--------------|------|------------|------------|------------|--------------|--------------|------|
| 1  | 広田    | 3          |      | 1    |            |              | 2    | 1          | 3          | 3          | 1            | 1            |      |
| 2  | 倭文    |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 3  | 松帆    | 1          |      |      |            |              | 1    |            |            |            | 1            |              |      |
| 4  | 湊     |            |      |      |            |              |      |            | 1          | 1          |              |              |      |
| 5  | 津井    |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 6  | 阿那賀   |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 7  | 丸山    |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 8  | 伊加利   |            |      |      |            |              | 1    |            |            |            |              |              |      |
| 9  | 西淡・志知 |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 10 | 榎列・倭文 |            |      |      |            |              |      |            | 1          |            |              |              |      |
| 11 | 八木    | 7          | 2    | 1    | 2          | 2            | 5    | 3          |            |            | 2            | 2            | 1    |
| 12 | 市     | 1          | 1    |      |            |              |      |            | 4          | 4          |              |              |      |
| 13 | 神代    | 2          | 2    |      |            | 1            |      | 1          | 1          | 1          |              | 1            |      |
| 14 | 三原・志知 | 1          |      | 1    |            | 1            |      | 1          |            |            |              |              |      |
| 15 | 福良    | 2          | 1    |      |            |              |      |            |            |            | 1            |              |      |
| 16 | 賀集    | 3          | 2    | 1    |            |              | 2    | 1          |            |            | 1            | 1            |      |
| 17 | 北阿万   | 1          |      |      |            | 1            |      |            |            |            |              |              |      |
| 18 | 潮美台   |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 19 | 阿万    |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 20 | 灘     |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |
| 21 | 沼島    |            |      |      |            |              |      |            |            |            |              |              |      |



# 【介護保険サービス事業所】施設サービス、地域密着型サービスほか

|    | 地域別   | 施設サービス |        |        | 療養型医療施設 | 地域密着型サービス |        |              | 地域包括<br>支援センター |
|----|-------|--------|--------|--------|---------|-----------|--------|--------------|----------------|
|    |       | 老人福祉施設 | 老人保健施設 | 施設サービス |         | 認知症通所介護   | 小規模多機能 | 認知症対応型共同生活介護 |                |
| 1  | 広田    | 1      |        |        | 1       | 1         | 1      | 1            | 1              |
| 2  | 倭文    |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 3  | 松帆    | 1      |        |        |         |           | 1      |              |                |
| 4  | 湊     |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 5  | 津井    |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 6  | 阿那賀   |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 7  | 丸山    |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 8  | 伊加利   |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 9  | 西淡・志知 |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 10 | 榎列・倭文 |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 11 | 八木    | 2      | 2      |        | 1       | 1         | 1      | 2            |                |
| 12 | 市     |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 13 | 神代    |        |        |        | 1       |           |        |              |                |
| 14 | 三原・志知 |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 15 | 福良    |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 16 | 賀集    | 1      | 1      |        |         | 1         | 1      |              | 1              |
| 17 | 北阿万   |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 18 | 潮美台   |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 19 | 阿万    |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 20 | 灘     |        |        |        |         |           |        |              |                |
| 21 | 沼島    |        |        |        |         |           |        |              |                |

## 【障害福祉サービス事業所ほか】

|    | 地域別   | 障害福祉サービス |        |      |      |      |      |          |      |        |        | 地域生活支援事業 |        |      |            |      |        |
|----|-------|----------|--------|------|------|------|------|----------|------|--------|--------|----------|--------|------|------------|------|--------|
|    |       | 居宅介護     | 重度訪問介護 | 行動援護 | 短期入所 | 同行援護 | 生活介護 | 児童デイサービス | 自立訓練 | 就労移行支援 | 就労継続支援 | 共同生活介護   | 共同生活援助 | 相談支援 | 地域活動支援センター | 移動支援 | 日中一時支援 |
| 1  | 広田    |          |        |      |      |      | 1    | 1        |      |        |        |          |        |      |            | 1    | 1      |
| 2  | 倭文    |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 3  | 松帆    |          |        |      | 1    |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 4  | 湊     |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 5  | 津井    |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 6  | 阿那賀   |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 7  | 丸山    |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 8  | 伊加利   |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 9  | 西淡・志知 |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 10 | 榎列・倭文 |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 11 | 八木    |          |        |      | 2    |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 12 | 市     | 1        | 1      | 1    |      | 1    |      |          | 1    |        |        | 1        | 1      | 1    | 1          | 1    |        |
| 13 | 神代    | 1        | 1      |      |      |      | 1    |          |      | 1      |        | 2        | 1      | 1    | 1          | 2    | 1      |
| 14 | 三原・志知 |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 15 | 福良    | 1        | 1      |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            | 1    |        |
| 16 | 賀集    | 1        | 1      |      | 1    |      |      |          |      |        | 1      |          | 1      |      |            |      |        |
| 17 | 北阿万   |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 18 | 潮美台   |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 19 | 阿万    |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 20 | 灘     |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |
| 21 | 沼島    |          |        |      |      |      |      |          |      |        |        |          |        |      |            |      |        |

## 【医療】

|    | 地域別   | 総合病院 | 診療所 | その他<br>開業医 |
|----|-------|------|-----|------------|
| 1  | 広田    | 1    | 2   | 3          |
| 2  | 倭文    |      |     |            |
| 3  | 松帆    |      |     | 2          |
| 4  | 湊     |      |     | 2          |
| 5  | 津井    |      | 1   |            |
| 6  | 阿那賀   |      | 1   |            |
| 7  | 丸山    |      | 1   |            |
| 8  | 伊加利   |      | 1   |            |
| 9  | 西淡・志知 |      |     |            |
| 10 | 榎列・倭文 |      |     | 3          |
| 11 | 八木    | 2    |     |            |
| 12 | 市     |      |     | 4          |
| 13 | 神代    | 1    |     |            |
| 14 | 三原・志知 |      |     |            |
| 15 | 福良    |      |     | 4          |
| 16 | 賀集    | 1    | 1   | 2          |
| 17 | 北阿万   |      |     | 1          |
| 18 | 潮美台   |      |     |            |
| 19 | 阿万    |      |     | 1          |
| 20 | 灘     |      | 1   |            |
| 21 | 沼島    |      | 1   |            |

※その他開業医に耳鼻科や歯科を含めていない

## 【地域活動拠点等】

|    | 地域別   | ふれあい・<br>いきいきサロン | 庁舎 | 出張所・連絡所<br>・支所 | 公民館 | 県民交流広場 |
|----|-------|------------------|----|----------------|-----|--------|
| 1  | 広田    | 4                | 1  |                | 1   |        |
| 2  | 倭文    | 1                |    | 1              |     | 1      |
| 3  | 松帆    | 9                |    |                | 1   | 1      |
| 4  | 湊     |                  | 1  |                | 2   |        |
| 5  | 津井    | 2                |    |                | 1   | 1      |
| 6  | 阿那賀   | 3                |    |                | 1   |        |
| 7  | 丸山    |                  |    |                | 1   |        |
| 8  | 伊加利   | 1                |    |                | 1   |        |
| 9  | 西淡・志知 | 1                |    |                | 1   | 1      |
| 10 | 榎列・倭文 | 7                |    |                | 1   | 1      |
| 11 | 八木    | 5                |    |                | 1   | 1      |
| 12 | 市     | 3                | 2  |                | 2   | 1      |
| 13 | 神代    | 1                |    |                | 1   | 1      |
| 14 | 三原・志知 |                  |    |                | 1   |        |
| 15 | 福良    | 4                | 1  |                | 1   | 1      |
| 16 | 賀集    | 1                |    | 1              | 1   | 1      |
| 17 | 北阿万   | 2                |    | 1              | 1   | 1      |
| 18 | 潮美台   | 1                |    |                |     | 1      |
| 19 | 阿万    | 5                |    | 1              | 1   |        |
| 20 | 灘     |                  |    | 1              | 1   |        |
| 21 | 沼島    | 2                |    | 1              | 1   | 1      |

## 【地域別状況一覧】

|    | 地域別   | 人口    | 世帯数   | 高齢者人口 | 高齢者人口 | 高齢化率  |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|    |       |       |       | 65歳～  | 75歳～  |       |
| 1  | 広田    | 4,540 | 1,685 | 1,034 | 565   | 22.78 |
| 2  | 倭文    | 1,725 | 587   | 456   | 260   | 26.43 |
| 3  | 松帆    | 4,400 | 1,549 | 1,258 | 723   | 28.59 |
| 4  | 湊     | 2,005 | 739   | 592   | 336   | 29.52 |
| 5  | 津井    | 1,555 | 526   | 481   | 287   | 30.93 |
| 6  | 阿那賀   | 1,518 | 597   | 527   | 285   | 34.72 |
| 7  | 丸山    |       |       |       |       |       |
| 8  | 伊加利   | 473   | 179   | 173   | 105   | 36.58 |
| 9  | 西淡・志知 | 1,181 | 379   | 326   | 190   | 27.6  |
| 10 | 榎列・倭文 | 4,396 | 1,456 | 1,086 | 623   | 24.7  |
| 11 | 八木    | 3,727 | 1,396 | 976   | 558   | 26.19 |
| 12 | 市     | 3,966 | 1,423 | 1,021 | 557   | 25.74 |
| 13 | 神代    | 3,123 | 1,070 | 796   | 461   | 25.49 |
| 14 | 三原・志知 | 809   | 262   | 232   | 141   | 28.68 |
| 15 | 福良    | 5,609 | 2,449 | 2,035 | 1,149 | 36.28 |
| 16 | 賀集    | 3,791 | 1,337 | 1,064 | 623   | 28.07 |
| 17 | 北阿万   | 2,002 | 676   | 552   | 321   | 27.57 |
| 18 | 潮美台   | 1,536 | 567   | 216   | 93    | 14.06 |
| 19 | 阿万    | 3,491 | 1,263 | 1,100 | 660   | 31.51 |
| 20 | 灘     | 747   | 298   | 285   | 194   | 38.15 |
| 21 | 沼島    | 533   | 231   | 218   | 128   | 40.9  |

※阿那賀、丸山地域は住所が同一表記であり、住民基本台帳のデータからどちらの地域であるかを読み取ることができなかったため、あわせただけを記載しています。

# 用語解説

## あ行

### 「アセスメント」(assessment)

ソーシャルワークの支援過程における事前評価。サービス利用者の問題状況を詳しく理解するために、身体状況や感情、環境などの情報収集を行うこと。このアセスメントをもとに援助計画が立てられる。

### 「エコマップ」(生態地図)

福祉サービスを合理的かつ効率的に提供するために、利用者や家族の人間関係やさまざまな社会資源の状況を、一見して理解できるように、図式的・システムの描き出した地図のようなもの。

### 「NPO」(non-profit organization)

ボランティア活動等の社会貢献活動を行う、営利を目的としない社会的な使命をもった団体の総称。「民間非営利団体」と呼ばれる場合もある。広義のNPOの中には、社会福祉法人、学校法人、医療法人等の公益法人を含むが、狭義のNPOは、市民たちの自発性に基づくボランティアグループや市民活動団体といった組織をさすことが一般的。

また、こうした市民活動団体の中には特定非営利活動促進法(NPO法)に基づく法人格を持つ組織(特定非営利活動法人、通称ではNPO法人)がある。なお、「非営利」は「無償」ではなく、給料を払って職員を雇用することもでき、スタッフの活動に対して人件費を払うことや、収益活動も行える。

### 「エンパワメント」(empowerment)

社会的に抑圧されている人々が、自らコントロールして問題解決していくことによって、社会体制にも影響を与える力をつけようとするもの。また、サービス利用者が主体的に力を発揮していけるようにソーシャルワーカーが支援する過程。

### 「OJT」(on the job training)

企業内で行われる職業指導手法のひとつで、職場の上司や先輩が部下や後輩に対して、具体的な仕事を通じて、仕事に必要な知識・技術・態度などを、意図的・計画的・継続的に指導し、習得させることによって、全体的な業務処理能力や力量を育成するすべての活動のこと。

## か行

### 「介護福祉士」

専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを業とする者。福祉の国家資格の一つ。

### 「介護支援専門員(ケアマネジャー)」

要支援又は要介護と認定された人が、適切かつ効果的にサービスが受けられるよう、介護サービス計画(ケアプラン)の作成等に従事し、市町村やサービス事業所等との連絡・調整を行う専門職。

### 「共同募金活動」

地域福祉の推進を図ることを目的として、募金及び配分を実施。実施期間は、厚生労働省の告示により10月1日から12月31日まで。民間のボランティアによって集められ、地域福祉事業を実施する民間団体に配分するという特徴がある。

## 「協働」

複数の個人や集団が、それぞれのもつ制約を超えて、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること。パートナーシップとも言う。

## 「権利擁護」

詳細は P.31 コラム を参照

## 「個人情報保護法」

個人情報とは、生存する個人の情報であって、特定の個人を識別できる情報（氏名、生年月日等）で、個人情報の不適正な取扱いによる個人の権利利益の侵害を未然に防止するため、行政機関・企業等が個人情報の取扱いに当たって守るべきルールを定めたもの。

## 「コミュニティ」(community)

地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭り等に関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団のこと。

## 「コミュニティワーカー」(community worker)

地域住民の生活問題の解決のための自主的・主体的活動を、側面から援助する専門的な福祉職のこと。

## 「懇談会・座談会」

特定の属性を持つ集団が、打ち解けてざっくばらんに話し合うために設けられる会合。南あわじ市社協では、小学校区単位で行う会合を「懇談会」、自治会単位で行う会合を「座談会」としている。

## さ行

## 「災害時要援護者」

必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人々をいい、一般的に高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊婦等があげられている。

要援護者は新しい環境への適応能力が不十分であるため、災害による住環境の変化への対応や、避難行動、避難所での生活に困難を来すが、必要なときに必要な支援が適切に受けられれば自立した生活を送ることが可能である。

## 「在宅介護支援センター」

老人福祉法において、市町村が行うべき老人福祉に関する情報の提供並びに相談及び指導等の実施機関として明記され、市町村行政の代替機能を担っているところ。地域住民に最も身近な場所で、地域の全ての高齢者に対し、保健、医療、福祉の総合相談窓口としての役割を担っている。

## 「自己決定の原則」

人間は本来、問題への対応のしかたを、自分自身で決める能力を持ち、また自分で決める権利を持っているという個人の尊重の考え方を基本にした原則のこと。

## 「自主防災組織」

災害対策基本法第5条第2項において規定する地域住民による任意の防災組織で、主に自治会が母体となって地域住民が自主的に連帯して防災活動を行う任意団体のこと。



## 「スクールソーシャルワーカー」(school social worker)

英語名の頭文字をとって「SSW」とも記す。いじめや不登校などの問題を解決するために、担任教師とともに児童・生徒の家庭を戸別訪問したり、教師や保護者に助言したりするほか、児童相談所などと連携して問題解決にあたる人のこと。

## 「生活課題」

自分が自分らしい生活をしていく中で、やりたいこと等の目的・目標のこと。

## 「成年後見制度」

精神上の障がい（知的障がい、精神障がい、認知上の障がいなど）により判断能力が十分でない人が、不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをして、その人を援助してくれる人を付けてもらう制度。

また、成年後見制度は精神上の障がいにより判断能力が十分でない人の保護を図りつつ自己決定権の尊重、残存能力の活用、ノーマライゼーション（障がいのある人も家庭や地域で通常の生活をするのができるような社会を作るという理念）の理念をその趣旨としている。

## た行

### 「地域ケアシステム（み～あシステム）」

在宅の生活を支えるには、在宅福祉サービスとともに家族・近隣住民などのインフォーマルな力が必要。そのインフォーマルな力を含めたものを再編成するしくみの総称。

### 「地域支援ネットワーク（み～あネットワーク）」

在宅の生活を支えるには、在宅福祉サービスとともに家族・近隣住民などのインフォーマルな力が必要。そのインフォーマルな力の再編成、システム化。システムの構築により、孤立しがちな人に対して、地域の支えがはかられ、当事者の生活支援、介護などにより具体的に生活を支える。とくに介護保険制度、障害者福祉制度の対象外の人あるいは対象外のケアで必要なものについて支援する。「危険状態」を発見するなどの効果がある。

### 「地域包括支援センター」

地域における介護予防のケアマネジメント、高齢者の虐待防止や権利擁護、総合相談、継続的・包括的なマネジメントを担う中核機関。

### 「デイジー」(Daisy)

デジタル録音図書を実用化するための国際標準規格。Digital Accessible Information System「アクセシブルな情報システム」の頭文字を取っている。

## 「当事者」

障がい者、認知症の家族を介護している家族、ひとり暮らし高齢者、難病患者など、「生活上の課題を抱えた人」「生活上充足したいニーズを持っている人」のこと。

## な行

### 「ニーズ」(needs)

生存や幸福、充足を求める身体的・精神的・文化的・社会的な要求のこと。欲求、必要、要求などと訳される。

### 「日常生活自立支援事業」

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うもの。

## 「ノーマライゼーション」(normalization)

デンマークのバンク・ミケルセンが知的障がい者の処遇に関して唱え、北欧から世界へ広まった障害者福祉の最も重要な理念。障がい者を特別視するのではなく、社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、ともに生きる社会こそノーマルな社会であるという考え方。

## は行

### 「バリアフリー」(barrier free)

障がい者や高齢者が社会生活をしていく上で、障壁・障害（バリア）となるものを取り除き、生活しやすくすること。一般に障がい者や高齢者の社会参加を妨げる物理面、制度面、文化・情報面、心理面の障壁の除去という意味で用いられる。

### 「福祉学習」

学校、地域住民、子どもたちが福祉について関心を持ち、自発的・主体的に学び、行動する人を地域に増やすことを目的に行うもの。福祉学習は①学校で進める福祉学習、②地域で進める福祉学習、③学校と地域が交流し力を合わせて進める福祉学習の3つの場がある。福祉学習を通して人や自分を思いやる力、違いや自分を認める力、自分の思いや考えを人に伝える力、事実を受け止め自分で考える力、自分で考え行動する力を引き出す。

### 「プラットフォーム」(platform)

地域福祉の担い手である住民・関係団体・事業者・行政などが幅広く参加し、情報交換や話し合いなどを行いながら、連携を図っていく場のこと。また、さまざまな団体や個人が連携して問題を解決する仕組み。

### 「ボランティア」(volunteer)

自発的に（自発性・主体性の原則）、他者や社会の為に（社会性・連帯性の原則）、金銭的な利益を第一に求めない（無給性・無償性の原則）活動をする人のこと。

### 「ボランティアコーディネーター」(volunteer coordinator)

市民のボランティア活動を支援し、その実際の活動においてボランティアならではの力が発揮できるような市民と市民または組織をつないだり、組織内での調整や活動に対する相談を行う専門職。

### 「ボランティアセンター」(volunteer center)

地域又は職場や学校においてボランティアに関する事務を行い、ボランティアの活性化を図る組織。日本では市区町村単位で社会福祉協議会と連携して設置されることが多い。ボランティア情報の収集と発信、ボランティアコーディネート業務、広報誌の発行、ボランティアに関する教育・研修の場、ボランティアの情報交換の場として機能している。

### 「ホワイトカラー」(White-Collar 白い襟)

主に事務に従事する人々を指す職種・労働層を指す言葉。業務内容で例えると、精神労働者になる。対義語にはブルーカラー（肉体労働者）が挙げられ、関連語にはサラリーマンが挙げられる。

## ま行

### 「モニタリング」(monitoring)

援助過程が問題解決に向けて有効に行われているかを検討すること。

## 「ミニデイサービス」

おおむね 65 歳以上の高齢者を対象に、人と人との交流を通じて、生活の楽しみを見つけることを目的とした事業。市からの補助事業で、閉じこもり防止と介護予防の効果が期待できる。

## 「モチベーション」

動機づけ。やる気を起こさせる内的な心の動き。

## わ行

## 「ワムネット」

介護・福祉・医療施設の検索や行政情報や福祉用具の閲覧など、福祉・保健・医療の情報を総合的に提供している情報サイト。独立行政法人福祉医療機構が運営している。

## 計画策定の経緯

### 《策定委員会》

| 開催日         |                 | 内容                                                                                       |
|-------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回         | 平成23年<br>1月31日  | (1) 正副委員長の選任<br>(2) 地域福祉推進計画について<br>(3) 南あわじ市社会福祉協議会の現状について<br>(4) 第2次地域福祉推進計画スケジュールについて |
| 第2回         | 平成23年<br>3月14日  | (1) 南あわじ市社会福祉協議会の現状についてと事業内容<br>(2) 1次計画の評価について<br>(3) 事業の点検と課題抽出                        |
| 第3回         | 平成23年<br>5月23日  | (1) 地域資源について<br>(2) 介護保険事業野現状について<br>(3) 地区別グループワーク                                      |
| 第4回         | 平成23年<br>7月11日  | (1) 事例検討<br>(2) 地域福祉計画の動向について<br>(3) 市民交流センターの概要について                                     |
| 第5回         | 平成23年<br>10月19日 | (1) 計画体系表について…1次計画の振り返りと2次計画の体系表<br>(2) 計画体系表について…具体的活動項目について<br>(3) 計画推進機関の確認について       |
| 第6回         | 平成24年<br>2月13日  | (1) 体系表の修正について<br>(2) 計画書（案）について                                                         |
| 第7回<br>（最終） | 平成24年<br>3月9日   | (1) 計画書の承認について<br>(2) 計画の推進について                                                          |

### 《調査活動》

行政の福祉計画策定にあたり行った、市民アンケート調査や・団体へのヒヤリング、地区別懇談会、統計等を参考にから、施策の方向を探る検討資料としました。

# 社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

## 第2次地域福祉推進計画策定委員会設置要綱

### (目的・設置)

第1条 社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、「みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち」を福祉目標として第1次地域福祉推進計画に基づく活動を推進中であるが、より柔軟に当事者、住民、福祉関係機関、団体等と連携し福祉のまちづくりを進めていくために、社協会長の諮問に応え第2次地域福祉推進計画を策定することを目的に設置する。

### (名称)

第2条 この委員会は、社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会第2次地域福祉推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）と称する。

### (委員会の任務)

第3条 この委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 第1次地域福祉推進計画の評価・見直しに関すること
- (2) 計画策定に必要な調査研究、協議を行うこと
- (3) 計画策定にあたって、関係者の意見を聴取し調整を行うこと
- (4) 計画策定に必要な事務を行うこと
- (5) その他、社協会長が必要と認めた事項

### (委員会の構成)

第4条 この委員会は、社協会長が委嘱した委員16名以内をもって組織する。

- 2 委員会に委員長1名、副委員長1名をおき、委員の互選により選出する
- 3 委員長は、委員会を代表し会務を統括する
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する
- 5 委員会に計画策定作業に必要な原案を作成するため作業部会を設ける

### (委員の任期)

第5条 委員の任期は、委嘱した日から答申をもって終了する。

- 2 委員に欠員が生じた場合は補充するものとし、前任者の残任期間とする

### (会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員総数の過半数の出席がなければ開くことはできない
- 3 議事については、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる

### (関係者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

### (庶務)

第8条 委員会の庶務は、社協事務局において処理する。

### (補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

付則 1. この要綱は、平成22年11月22日から施行する。

2. 委員の任期については、第5条の定めに関わらず答申後も社協が推進委員会を組織するまでの間、計画の推進に関して理事会等の諮問に応えるものとする。

3. 最初に招集する委員会は、第6条第1項の定めにかかわらず社協会長が招集する。

## 第2次地域福祉推進計画策定委員等名簿

### 《策定委員会》

| 氏 名    | 選出分野   | 所属及び職名            | 備 考                      |
|--------|--------|-------------------|--------------------------|
| 中野 恵子  | 保健     | 洲本健康福祉事務所地域保健課長   |                          |
| 齋藤 勝巳  | 商工会・企業 | 南あわじ市商工会副会長       |                          |
| 門田 照子  | 民生委員   | 主任児童委員            |                          |
| 森上 祐治  | 教育     | 南あわじ市議会議員         |                          |
| 後藤 直子  | 当事者    | 南あわじ市手をつなぐ育成会役員   |                          |
| 佐藤 繁俊  | 当事者    | 身体障害者福祉協会副会長      |                          |
| 出田 洋子  | 子育て    | 子育てママクラブ代表        |                          |
| 大亦 昭   | 住民     | 支部運営委員            |                          |
| ○阿部 昌弘 |        | 支部運営委員            |                          |
| 松本 英子  |        | 支部運営委員・ボランティア     |                          |
| 原 孝    |        | 支部運営委員・福良地区自治会長   |                          |
| 山崎 健祐  |        | 公募                |                          |
| 登里 倭江  | ボランティア | 南あわじ市いずみ会会長       |                          |
| 澤田 浩明  | 市行政    | 南あわじ市福祉事務所福祉課主幹   | 平成23年4月1日より<br>小西正文委員と交代 |
| 飯田 弘子  | 社協     | 南あわじ市社会福祉協議会理事    |                          |
| ◎松澤 賢治 | 知識     | 流通科学大学サービス産業学部准教授 |                          |
| 戸田 達男  | アドバイザー | 兵庫県社会福祉協議会地域福祉部   |                          |

◎委員長 ○副委員長

### 《作業部会》

| 氏 名   | 南あわじ市社協 | 職 名          |
|-------|---------|--------------|
| 山口 勇樹 | //      | 事務局長         |
| 興津 治美 | //      | 福祉事業部長       |
| 北川 知子 | //      | 介護保険部長       |
| 齋藤 伸子 | //      | ボランティアセンター係長 |
| 平見 明子 | //      | 地域福祉係長       |
| 土居 由佳 | //      | コミュニティワーカー   |



# お わ り に

---

南あわじ市社会福祉協議会「第2次地域福祉推進計画」（平成24年度～28年度）を無事策定することができました。計画策定に直接携わっていただいた策定委員の皆様と社会福祉協議会事務局の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。また、行政計画の策定とともに本計画の策定にも全面的な協力をいただいた行政担当部局の皆様にも合わせて感謝を申し上げます。

さて、この計画は平成21年度を初年度とする「第一次地域福祉推進計画」の後継計画として策定されたものであります。ですから今回の計画策定は第一次計画の推進期間の3年間の進捗を総括して今後推進すべき事業方針や活動内容について検討したものであります。それと同時に、社会の変化やそれにともなう市民の生活の変容、福祉課題の動向などをしっかり掴み、今社会福祉協議会に何が求められているかを調査、分析し計画に反映することに重点を置いたものになっています。

計画の内容については、計画の基本となる目標や柱、活動目標は第1次計画の内容を踏襲しました。これは、第一に事業の計画的推進を考えたとき短期間で基本的な目標を大きく変更することは避け、具体的な活動課題を掘り下げることには焦点をあてるべきと考えたからであります。第二には、この計画は、多くの市民の皆様理解されなかつ参加・参画いただくことで成果を上げることが出来るものだと考えております。そのため市民の皆様は広く、深くその内容をご理解いただくことが必要であり、社協と言えば「これ」というキーワードを大きく変えることは避けたいとの思いからであります。是非ともご理解を頂き市民の皆様がそれぞれ自分との関わりは何か、どう参加するかをお考えいただければ幸いです。

この計画には、もう一つ重要な目標が掲げられています。それは「み～あシステム（地域ケアシステム）」です。このシステムの目標は、一義的には福祉のまちづくりや福祉課題を抱える市民のサポートですが、防災・減災の備えにも役立つ、「行政・社協・各種専門機関・地域団体・地域住民・当事者・ボランティア等々が今まで以上に協働（共同）する体制と“段取り”」を提起したもので、このシステムの考え方は、今回行政が策定された地域福祉計画とも連動するものと考えています。

地域社会を取りまく環境が大きく変化する今日、この計画が掲げた目標と課題が多く南あわじ市民の皆様理解され、推進されることで大きな成果を上げることが心よりご期待申し上げます。

平成24年3月

第2次地域福祉推進計画策定委員会  
委員長 松澤賢治



---

---

## 社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会 第 2 次 地 域 福 祉 推 進 計 画

発 行 日 平成 24 年 3 月

編集・発行 社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0192

兵庫県南あわじ市広田広田 1064 番地

TEL：0799-44-3007 ／ FAX：0799-44-3037

---

---

